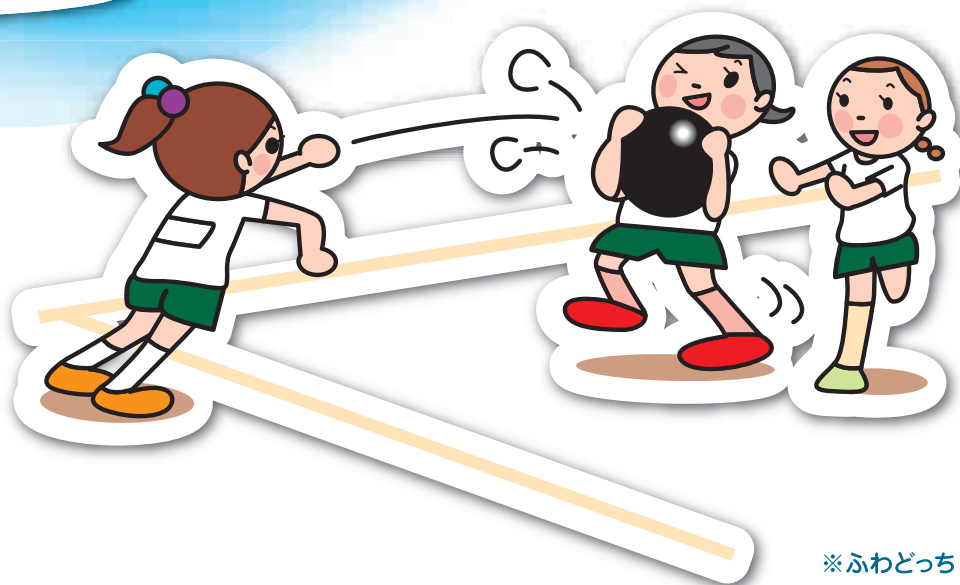


第2期

# 柏市スポーツ推進計画



※ふわどっち

柏市教育委員会

## はじめに

私たちの生活は、科学技術の高度化、情報化等の進展により、快適で便利なものとなりましたが、一方で人間関係の希薄化や身体活動の減少、精神的ストレスの増大などといった新たな課題が生じています。

こうした中、スポーツは心身の健康の保持増進をはじめ、生活習慣病の予防や介護予防など、明るく健康で豊かな生活を送るうえで欠かすことのできない存在となっています。また、次世代を担う子どもたちの心身の健全な育成に重要な役割を果たすとともに、仲間づくり、地域の一体感の醸成など、地域コミュニティの活性化を促すものとして、スポーツの役割はますます重要となっています。

このように社会状況が変容するなか、柏市では、国や県のスポーツ基本計画を参考に、地域事情に即した基本計画として、第2期柏市スポーツ推進計画を策定し、今後10年間取り組むべき方向性を示しています。

競技スポーツの充実をはじめ、すべての世代がそれぞれのライフスタイルに応じて、スポーツ習慣を身につけ、継続的にスポーツに親しむことができる「生涯スポーツ社会の実現」を目指して、スポーツを「する」「みる」「ささえる」「場所・情報の充実」など、それぞれの視点で、市民がスポーツ活動に主体的に取り組むことのできる環境づくりを進めていきます。

また、2020年東京オリンピック・パラリンピック開催の大きな気運の高まりに合わせて市民のスポーツへのかかわりがより一層広がる取り組みを進めてまいります。

結びに、本計画の策定にあたり、ご尽力いただいた柏市スポーツ推進審議会委員の皆様に対し、深く感謝申し上げますとともに、今後の計画の評価や検証、スポーツ推進の方策に関する調査審議など、一層のご支援とご協力を心からお願い申し上げます。

平成28年4月

柏市教育委員会  
教育長 河原 健

# 目次

C O N T E N T S

## はじめに

### 第1章 計画の概要 1

- 1 スポーツの定義 ..... 1
- 2 計画策定の趣旨 ..... 2
- 3 計画の位置付け ..... 3
- 4 計画の期間 ..... 4

### 第2章 計画の基本的な考え方 5

- 1 柏市のスポーツを取り巻く現状と課題 ..... 6
- 2 柏市の地域特性 ..... 17
- 3 計画の基本理念と基本目標 ..... 19

### 第3章 計画の取り組み 23

- 1 多様な参加ができる「する」スポーツの充実 ..... 26
- 2 魅力ある「みる」スポーツの充実 ..... 30
- 3 感動を分かち合う「ささえる」スポーツの充実 ..... 32
- 4 気軽に利用できる「場所」の充実 ..... 34
- 5 スポーツを楽しむきっかけとなる「情報」の充実 ..... 36

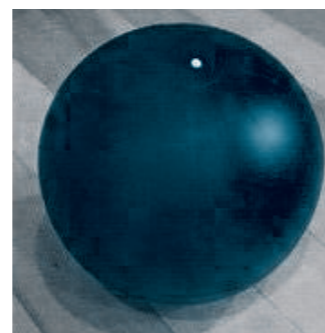
### 第4章 重点的な取り組み 39

- 1 子どもの運動・スポーツの充実 ..... 39
- 2 スポーツによる健康づくり ..... 39
- 3 スポーツ情報の充実 ..... 40

## ※ふわどっち

ふわどっちは、柏市スポーツ推進委員協議会が平成19年に考案した新しいスポーツです。

大きめにふくらませたラバーボールを使用してドッジボールをします。ふわふわしているので当たっても痛くない！柔らかいので強く投げれば投げるほど、どっちに飛んでいくか判らない！そんなボールでおこなうドッジボールなので、ふわどっちと名付けられました。



# 第1章 計画の概要

## 1 スポーツの定義

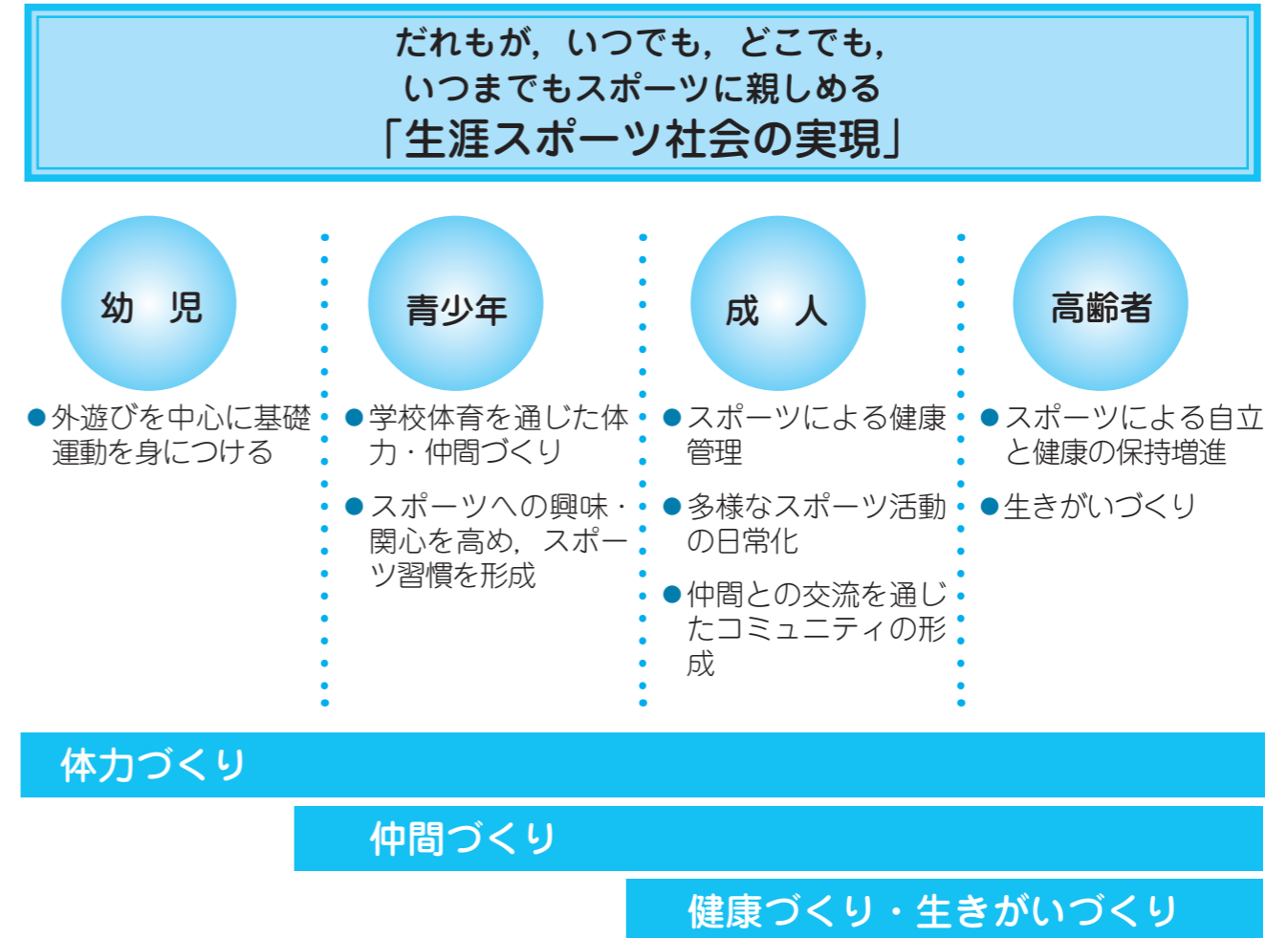
スポーツとは、スポーツ基本法では「心身の健全な発達、健康及び体力の保持増進、精神的な充足感の獲得、自律心その他の精神の涵（かん）養等のために個人又は集団で行われる運動競技その他の身体活動」と定められています。

この考え方を踏まえ、本計画では、競技スポーツはもちろん、体力づくり、健康維持・増進のために、計画的・意図的に実施する運動を「スポーツ」と捉えることとします。

また、趣味や交流のため気軽に身体を動かすこと、散歩やラジオ体操、サイクリング、レクリエーション活動をはじめ、運動不足のために日常の生活や仕事・家事の合間の簡単な運動も「スポーツ」の定義に含むものとします。

このように、「スポーツ」という概念や活動を広く定義づけ、市民のだれもが親しめる生涯スポーツを推進していきます。

図表1-1 生涯スポーツ社会のイメージ

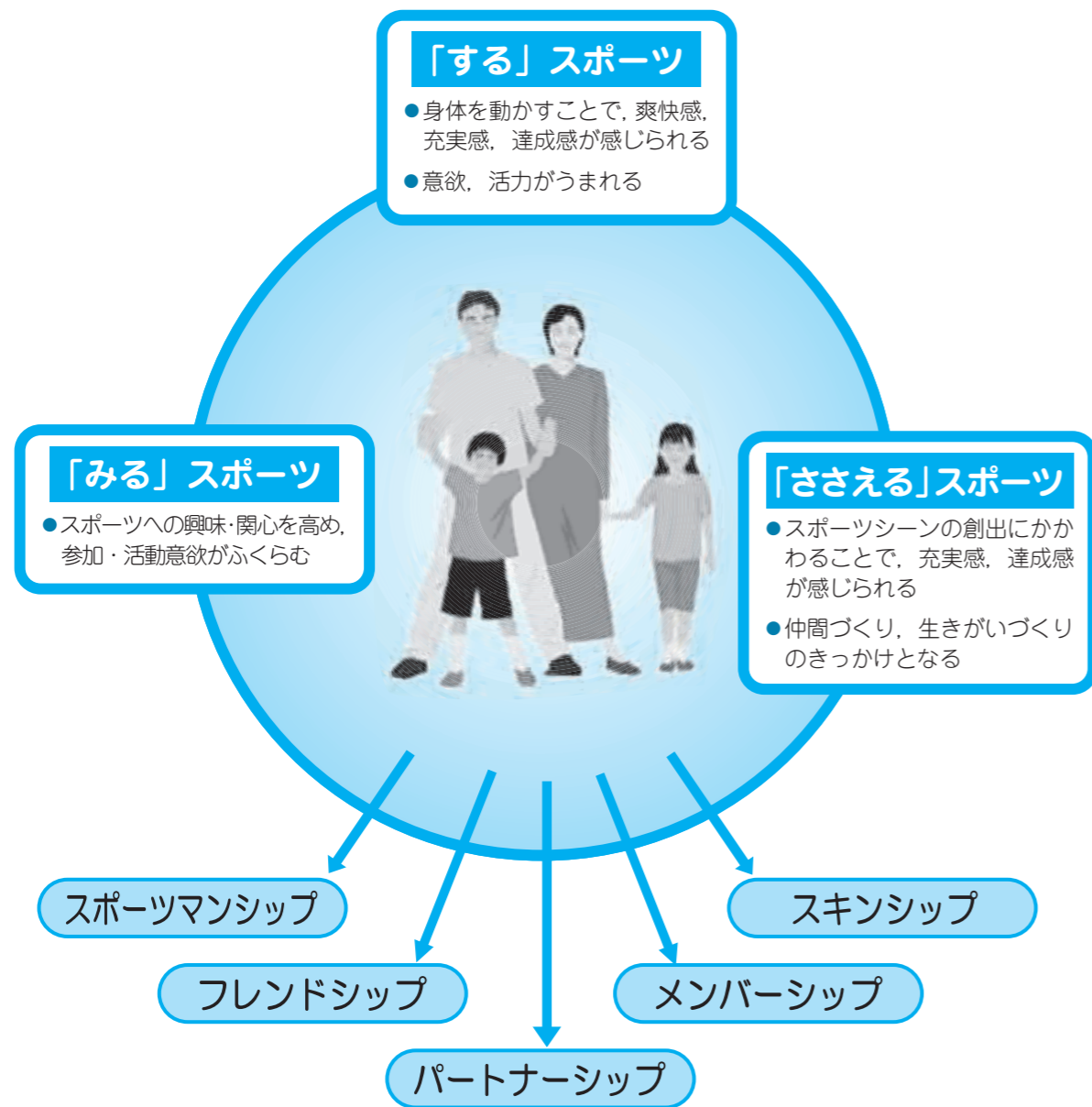


2 計画策定の趣旨

少子・高齢化の進行など、社会環境が変化する中で、スポーツの果たす役割・意義がますます重要になっています。

「する」「みる」「ささえる」といったスポーツへのかかわり方の多様性は、生涯にわたる豊かなスポーツライフの実現を可能にしていくものと考えられ、スポーツを総合的かつ計画的に推進していくことは、たいへん大きな意義があります。

図表1-2 スポーツのかかわり方 イメージ

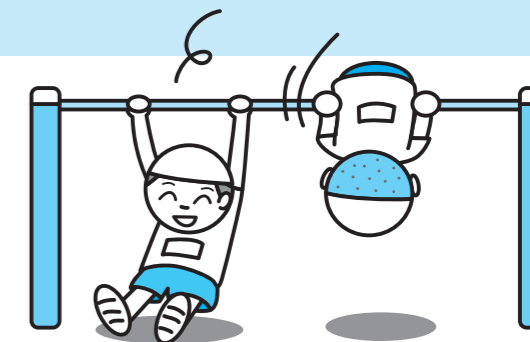
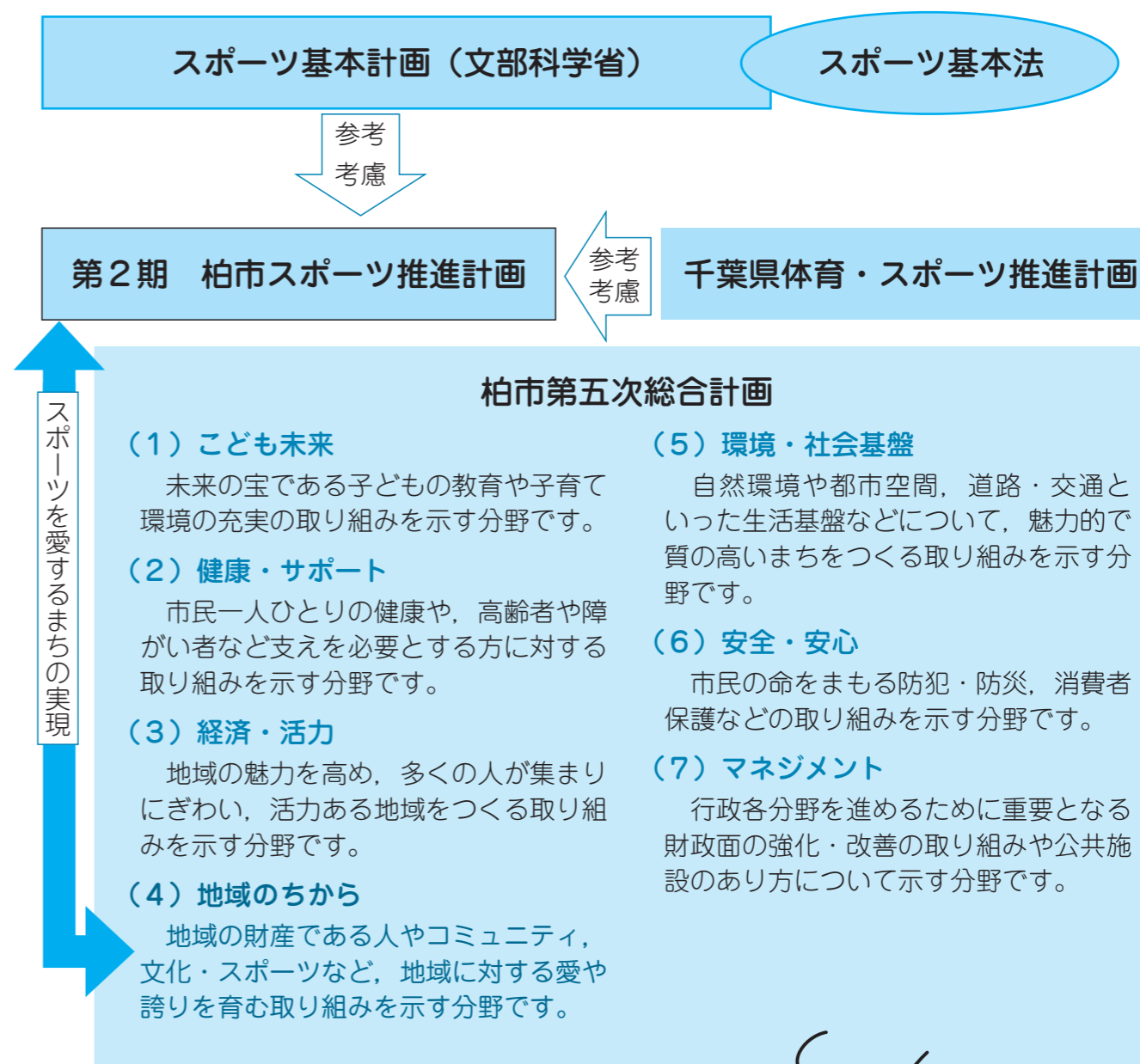


スポーツがもたらす効果は、健康・体力づくりや生活習慣病の予防、達成感や仲間との連帯感に加え、スポーツを通じた地域コミュニティの形成、地域の活性化などを果たす役割もあります。このことから、本市では、様々なスポーツに取り組める場や機会を整えていくことで、市民が充実した生活を送り、生涯にわたってスポーツを親しむことができる「生涯スポーツ社会の実現」に向けた施策を計画的に進めていくため、「第2期柏市スポーツ推進計画」を策定するものです。

3 計画の位置付け

本計画は、平成23年6月に制定された「スポーツ基本法」に基づき、柏市独自の計画として策定するものです。また、「千葉県体育・スポーツ推進計画」を参酌し、「柏市第五次総合計画」に示されたスポーツ分野等の施策をより具体化するため策定するものです。

図表1-3 計画の位置付け イメージ



4 計画の期間

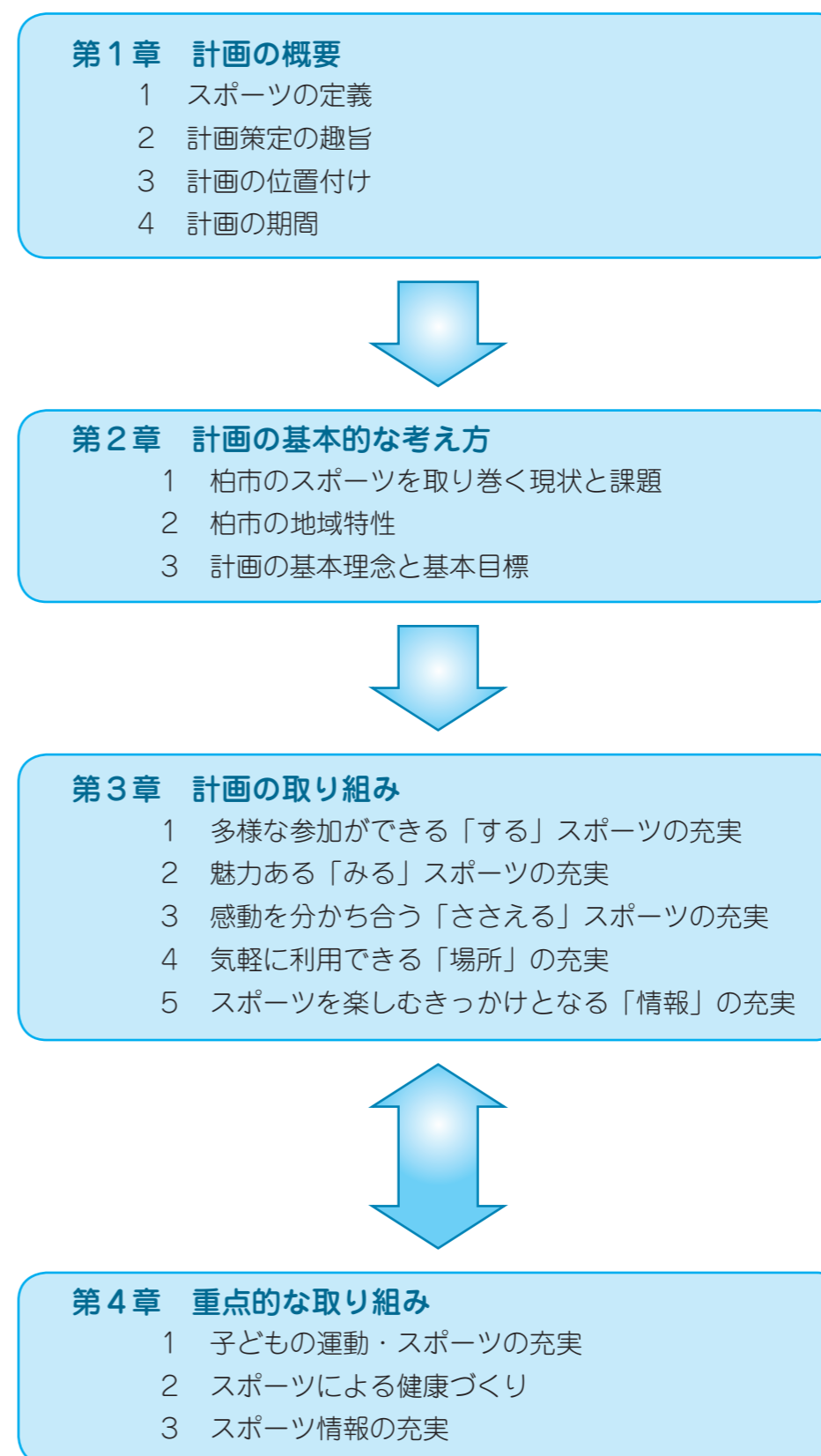
平成19年3月に「柏市スポーツ振興計画」を策定し、平成27年度までの計画期間中の中間点となる平成23年度に見直しを行い、名称を「柏市スポーツ推進計画」に改めました。

本計画の期間は、平成28年度（2016年度）から平成37年度（2025年度）までの10年間とします。ただし、この期間中、進捗状況や社会情勢の変化、また国のスポーツ施策の展開を踏まえ、計画の中間年次の平成32年度（2020年度）を目処に見直しを検討するものとします。



第2章 計画の基本的な考え方

図表2-1 計画の構成



1 柏市のスポーツを取り巻く現状と課題

これまで、本市では、市民のスポーツに関する実態を把握するためのアンケート調査を行いました。後述のデータ比較は、平成27年2月の調査及び、平成18年の計画策定時の調査、平成22年の計画見直し時のアンケート結果を比較したものです。

また、平成27年4月には、市内小学校、中学校、高等学校に対しアンケート調査を行い、スポーツに関する意識を再調査するとともに、子どもの体力の推移について新しいデータを比較対象として記載しました。

本章では、このアンケートの結果を中心に各種既存調査や統計を参考としながら、本市のスポーツの現状を、「する」「みる」「ささえる」といったスポーツへのかかわり方について3つの視点で分析するとともに、スポーツの実践に欠かせない「場所」や「情報」について整理しました。

図表2-2 アンケート概要

アンケート結果						
対象者	20歳以上の市民	市内の小学生、中学生、高校生	20歳以上の市民	市内の小学生、中学生、高校生	20歳以上の市民	市内の小学生、中学生、高校生
抽出	住民基本台帳から無作為抽出	小学校9校中学校6校高校3校	住民基本台帳から無作為抽出	小学校8校中学校5校高校2校	住民基本台帳から無作為抽出	小学校9校中学校6校高校3校
発送数	1,000人	-	1,000人	-	2,000人	-
回答数	396人	650人	361人	470人	771人	595人
回答率	39.60%	-	36.10%	-	38.60%	-
実施率	33.60%	-	43.40%	-	40.10%	-
方法	郵送法	学校にて実施	郵送法	学校にて実施	郵送法	学校にて実施
時期	平成18年7月	平成18年7月	平成23年2月	平成23年2月	平成27年2月	平成27年4月

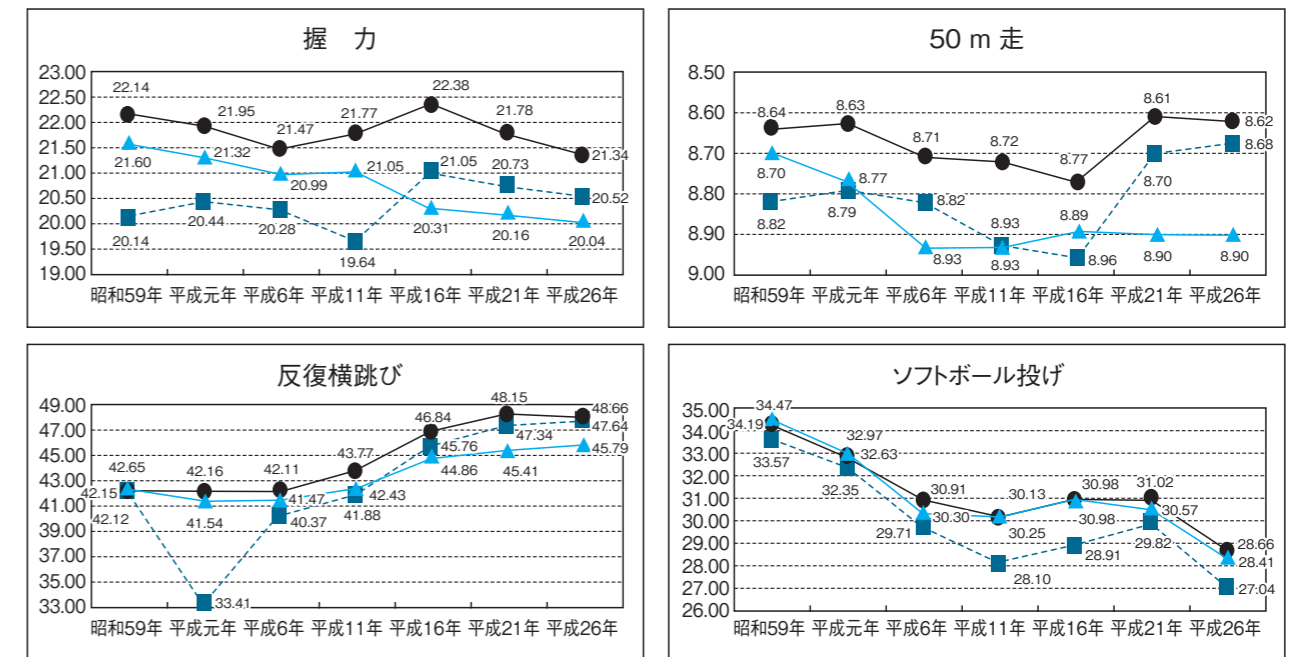


(1) 「する」スポーツの現状と課題

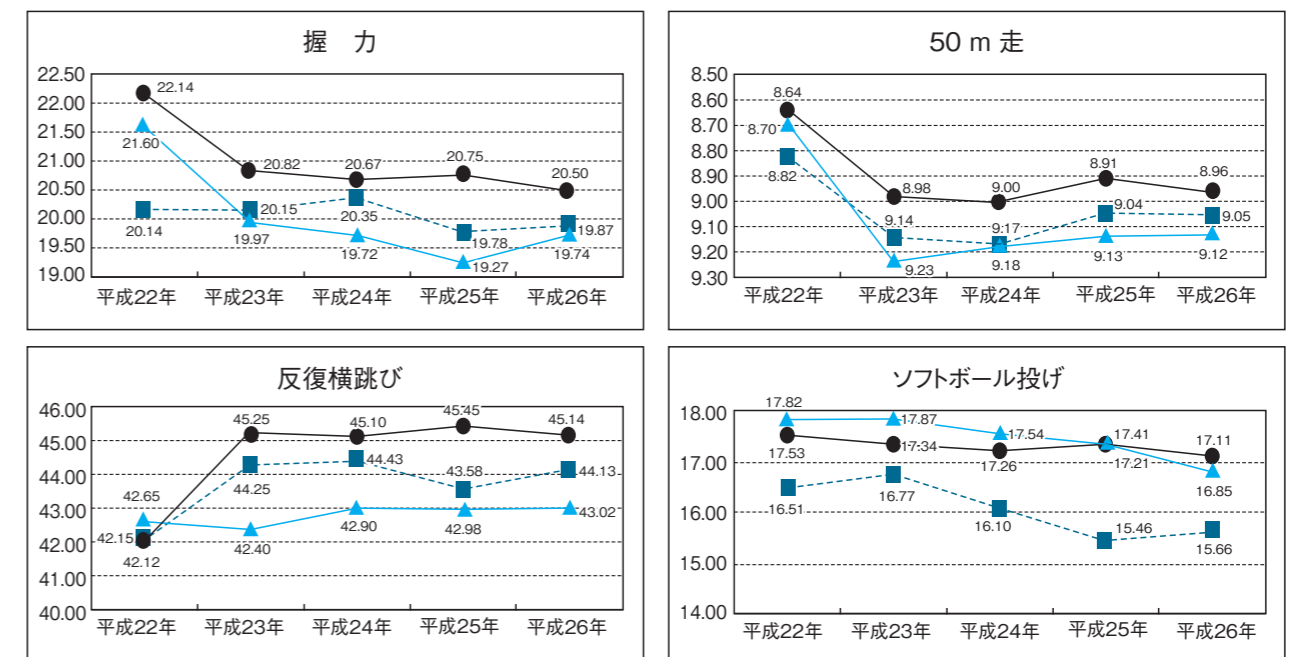
① 子どものスポーツ

本市の子どもの体力・運動能力は、千葉県の平均値を下回っています。反復横とびにおいて、改善も見られるが、握力や投力を課題として捉えることができます。多様な動きを継続的に実践していくなどの工夫を促していくことが必要です。

図表2-3 長期的に見た運動能力の推移（小学6年生男子）  
（文部科学省：新体力テスト参照）（昭和59年～平成26年）

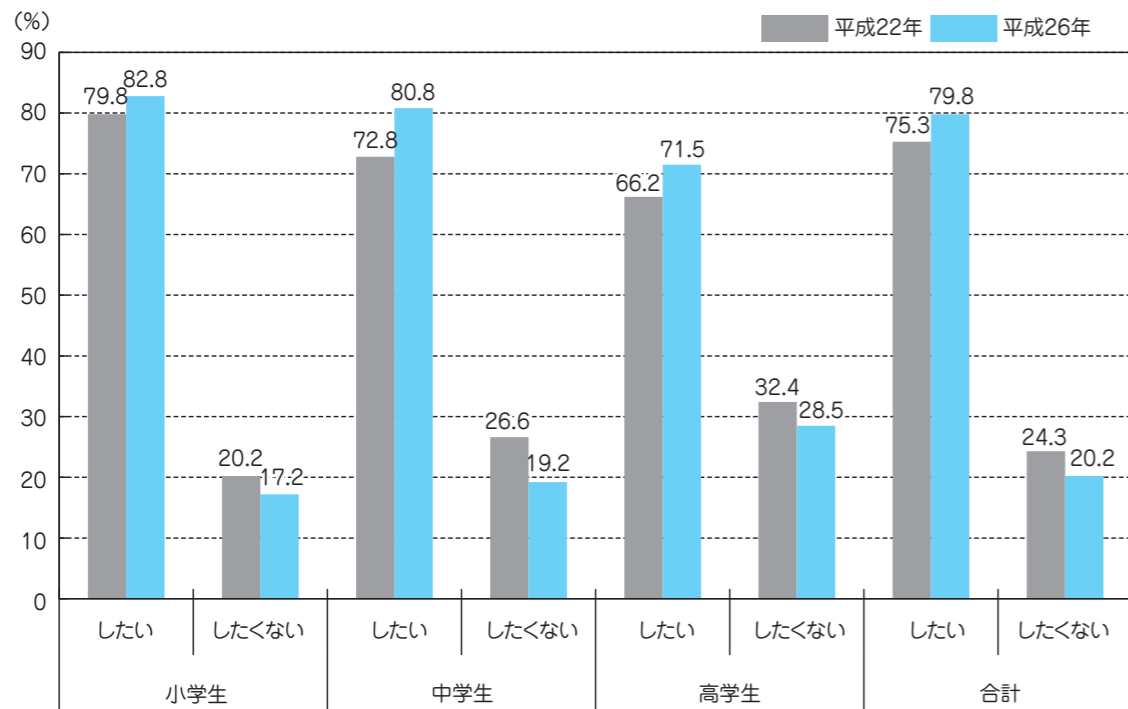


図表2-4 子どもの体力の推移（小学6年生女子）  
（文部科学省：新体力テスト参照）（過去5年間）



平成26年度のアンケート調査では、子どもたちの79.8%が「スポーツをしたい」と回答しています。発達段階別では、小学生は82.8%、中学生は80.8%、高校生は71.5%となっており、子どもたちのスポーツに対する意欲は前回調査より向上しています。

図表2-5 子どものスポーツへの意欲（アンケート平成22・26年度）



■子どものスポーツの課題■

子どもの体力低下の問題に対し、これからは社会全体で子どもの運動機会を確保し、体力の向上を図ることが必要です。そのため、外遊びを奨励し、スポーツの楽しさを感じてもらうとともに、重要性を家庭に促すことで、子どものスポーツに対する関心・意欲をより高めていくことが必要です。

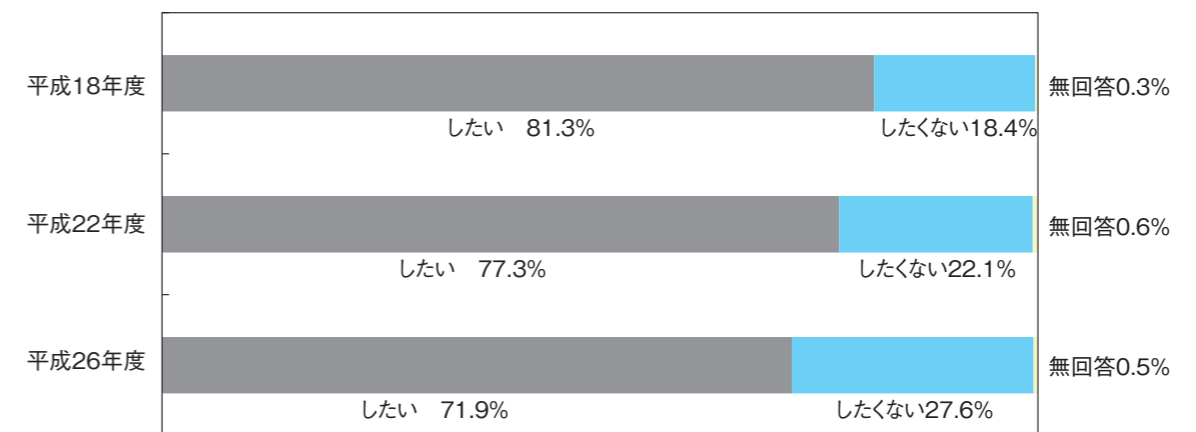
② 成人のスポーツ

平成18年度のアンケート調査では、成人の81.3%が「スポーツをしたい」と回答しています。しかしながら、週1回以上のスポーツの実施率は33.6%にとどまっており、全国平均の38.5%（平成16年度）を下回っていました。

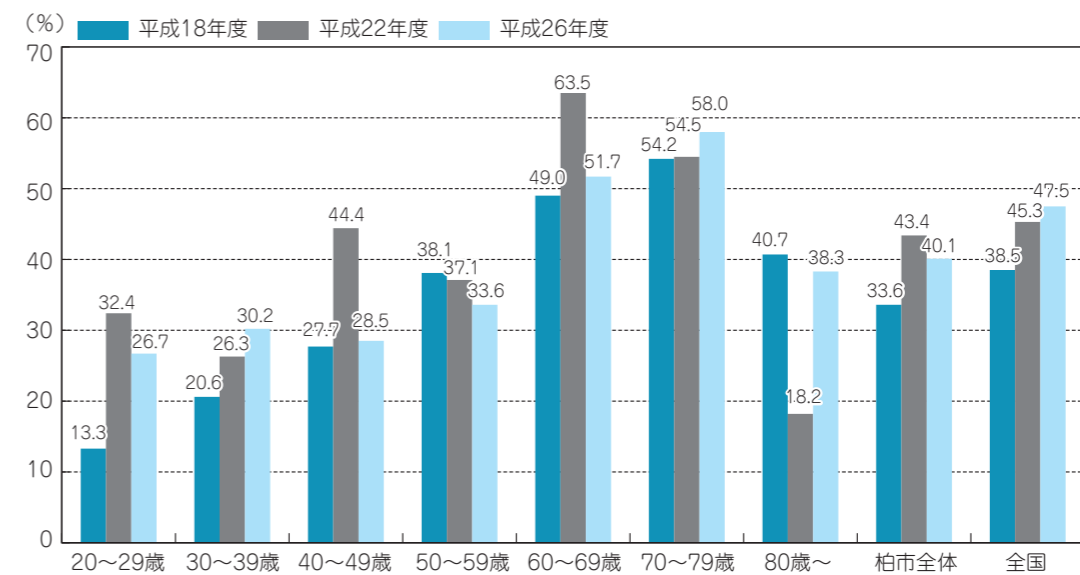
平成22年度のアンケートにおいて、週1回以上のスポーツの実施率は43.4%に増加しましたが、平成26年度アンケートでは40.1%に減少し、国が目指している割合65%以上に対して低い水準にあります。

現在、スポーツをしていない人やスポーツに親しみのない人に対して、継続的にスポーツに取り組みむためのきっかけづくりが重要であることがうかがえます。

図表2-6 スポーツへの意欲（平成18年度、平成22年度、平成26年度アンケート）



図表2-7 週1回以上のスポーツ実施率（平成18年度、平成22年度、平成26年度アンケート）

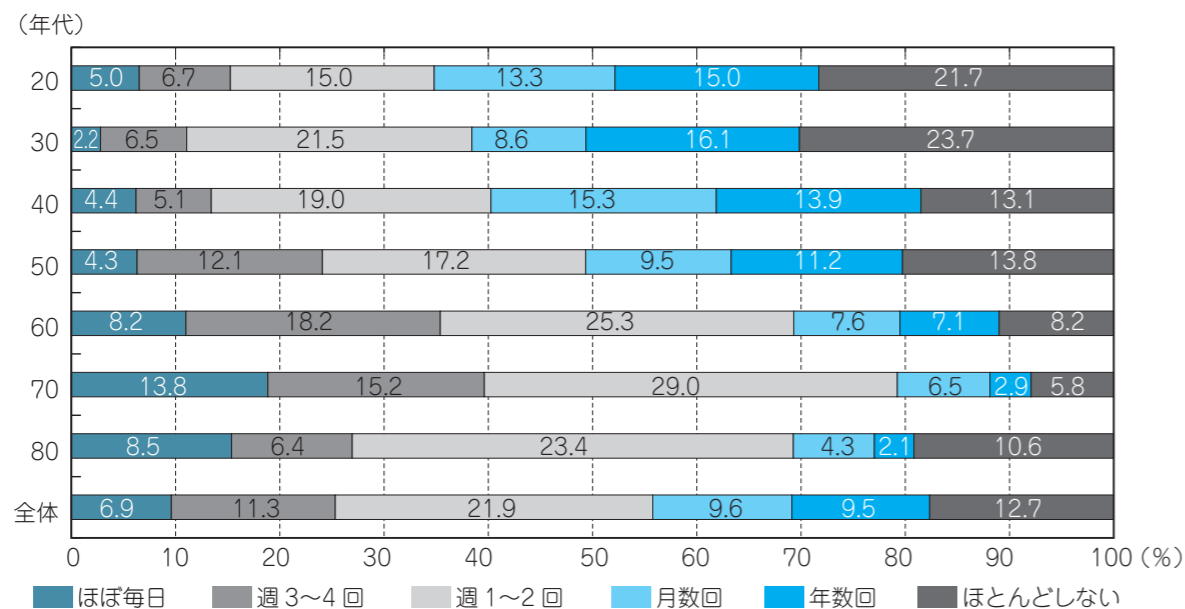




スポーツ実施率の週1回以上の実施状況を年代別で見ると、60歳、70歳代の実施率が高いのに比べて、働く世代である20歳代、30歳代のスポーツ実施率が低くなっています。

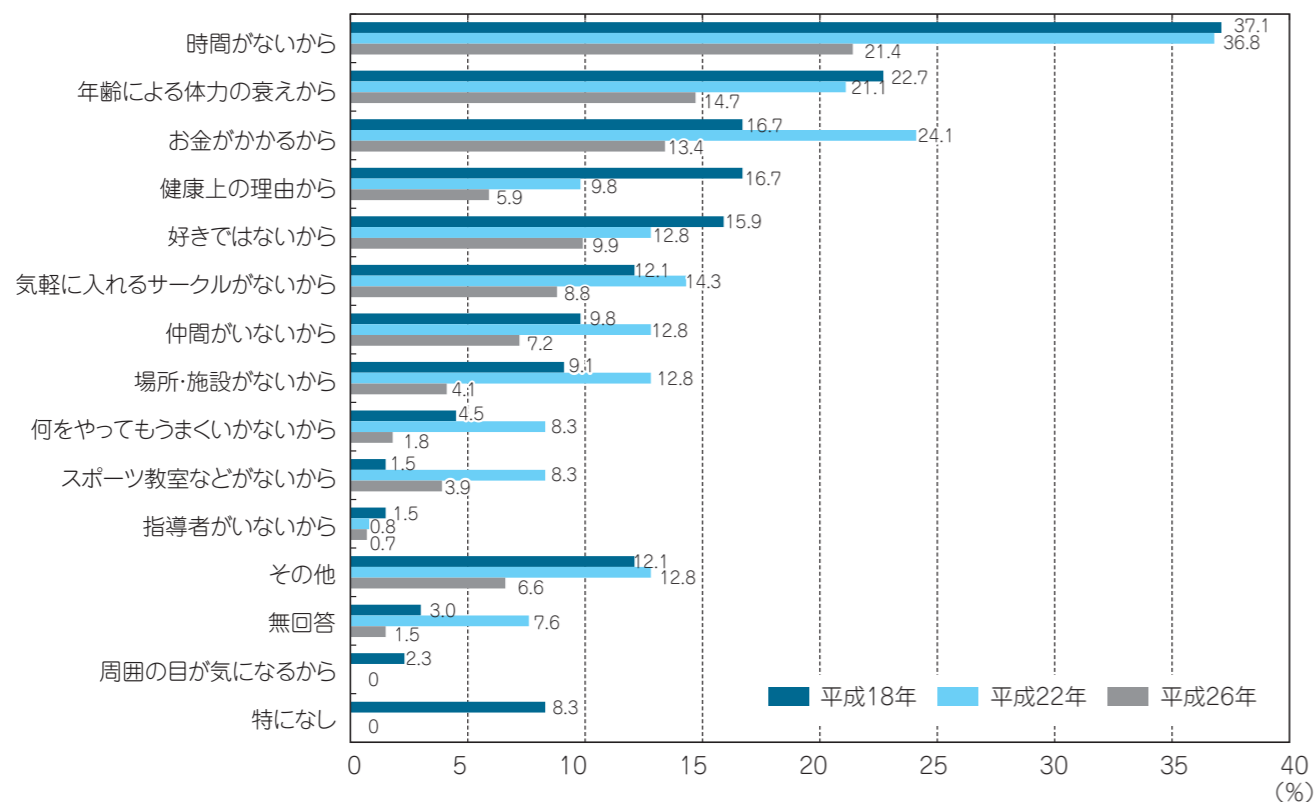
その理由は、「時間が無い」など仕事等により、スポーツ活動に取り組む余暇時間の確保が困難な状況にあることがうかがえます。

図表2-8 スポーツ実施率（平成26年度アンケート）



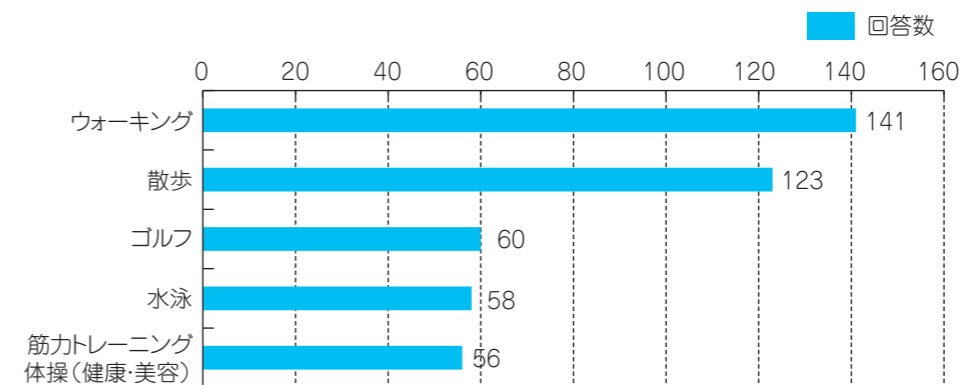
図表2-9 スポーツをしない理由

（平成18年度、平成22年度、平成26年度アンケート）



現在行っている種目をみると、ウォーキングや散歩が1位または2位となっています。このことから、手軽にできるスポーツが生活の中に浸透していることがうかがえます。

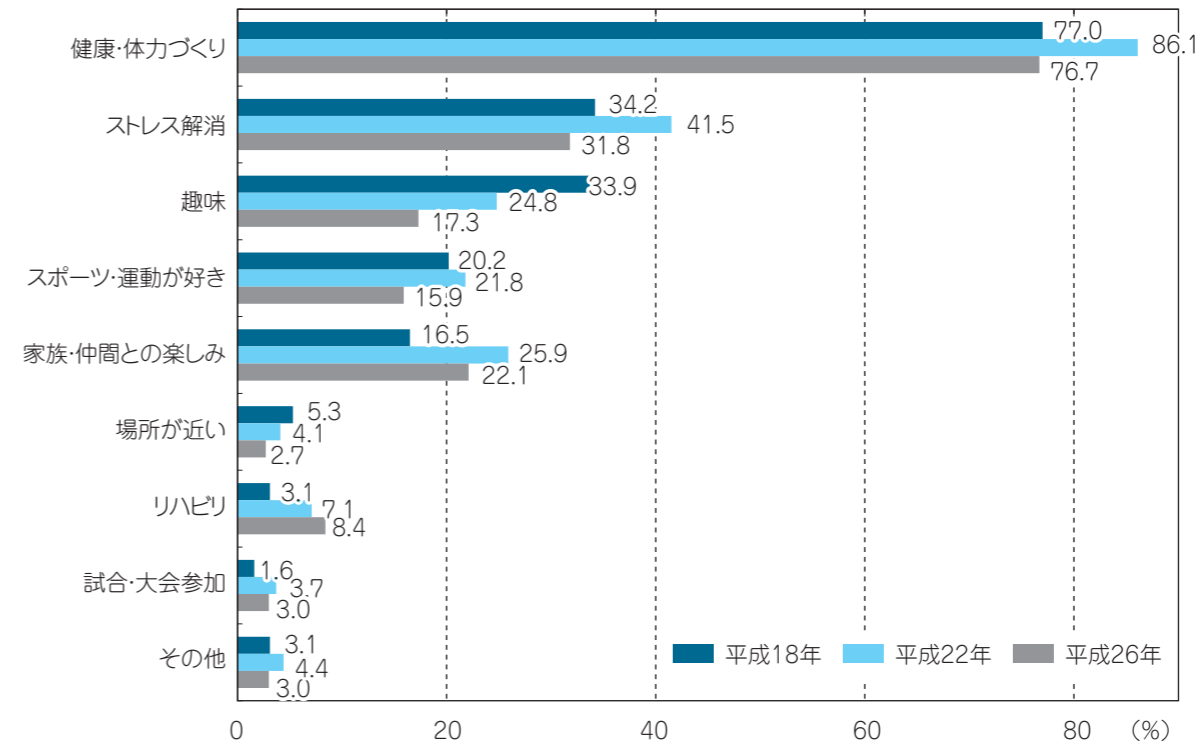
図表2-10 実施している種目（平成26年度アンケート）



スポーツをする理由の1位は「健康・体力づくり」で、2位は「ストレス解消」、その他「家族・仲間との楽しみ」「趣味」となっています。スポーツをする理由は、健康面やリフレッシュ、コミュニケーションツールなどと様々なかわり方がうかがえます。

図表2-11 スポーツをする理由

（平成18年度、平成22年度、平成26年度アンケート）



■成人のスポーツの課題■

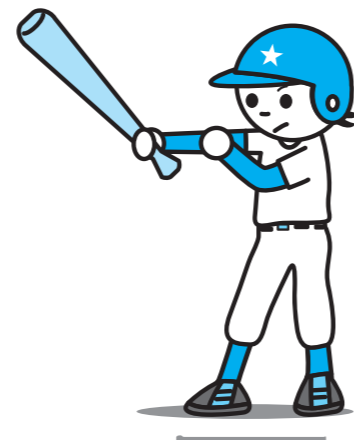
市民のスポーツへの関心や意欲は高いものの、継続的に実施するまでにはいたっていません。その理由として、時間がないことが一番にあげられています。このため、気軽にスポーツに取り組むきっかけづくり、簡単に行える健康・体力づくりを推進するなど、成人のスポーツ実施率を向上していくことが必要です。

③ 高齢者のスポーツ

成人の週1回以上のスポーツ実施率は、平成18年度アンケート調査では70歳代が最も高く54.2%となっており、2位は60歳代の49.0%でした。平成26年度のアンケートでも70歳代が最も高く58.0%となっています。このことは、仕事や子育てから解放されたことによる自由時間の増大や年齢による健康や体力に対する意識の一層の高まりが、高齢者のスポーツの実施率を高めているものと思われます。（図表2-7参照）

■高齢者のスポーツの課題■

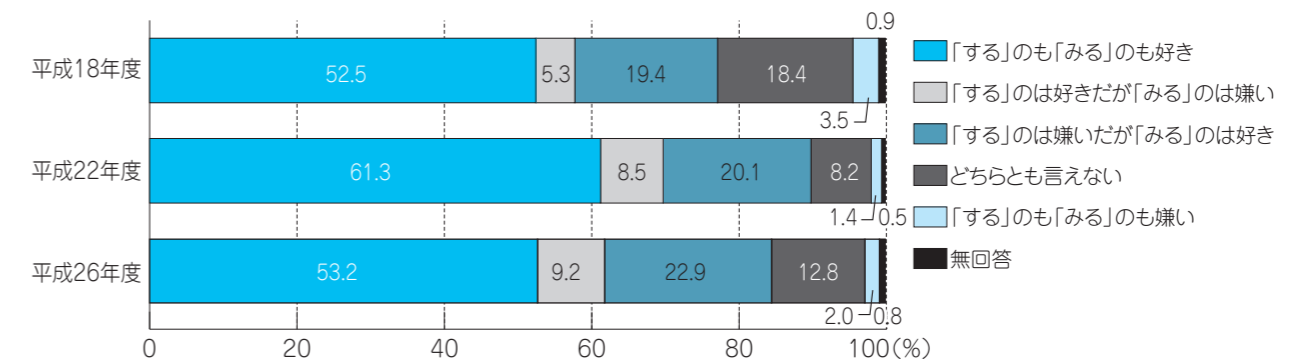
スポーツのもつ健康や体力づくりの効果を活かすだけでなく、スポーツが多様な活動を通じた交流の場として、生きがいつくりにつながる必要があります。



(2) 「みる」スポーツの現状と課題

平成26年度のアンケート調査では、市民の76.1%が「スポーツをみることは好き」と回答しています。このことから、市民のスポーツへの関心は高く、スポーツを「みる」ことが生活の中に定着していることがうかがえます。

図表2-12 スポーツへの関心  
(平成18年度、平成22年度、平成26年度アンケート)



本市には、豊富なホームタウンチームがあります。特に、「柏レイソル」はスタジアムで直にスポーツ観戦ができるため、日常では体験できない興奮や一体感を味わうことができます。「柏レイソル」は、地域にスポーツ観戦の楽しみをもたらすと同時に、スポーツのまちを推進する本市のイメージに大きく貢献しています。また、Jリーグのほかにも、観て楽しめるスポーツイベントが多く開催されています。

図表2-13 市内で開催される主なスポーツイベント

種目	チーム・選手など
Jリーグ（サッカー）	柏レイソル
Wリーグ（女子バスケットボール）	JX-ENEOSサンフラワーズ
Vチャレンジリーグ（女子バレーボール）	柏エンゼルクロス
Bリーグ（男子バスケットボール）	日立サンロッカーズ東京
Fリーグ（男子フットサル）	柏TOR' 82
手賀沼エコマラソン	積水化学女子陸上競技部、一般参加者
柏市民新春マラソン	一般参加者
手賀沼トライアスロン	一般参加者
プロ野球イースタンリーグ	千葉ロッテマリーンズ
トップリーグ（ラグビーフットボール）	NECグリーンロケッツ
その他	全国高等学校サッカー選手権大会

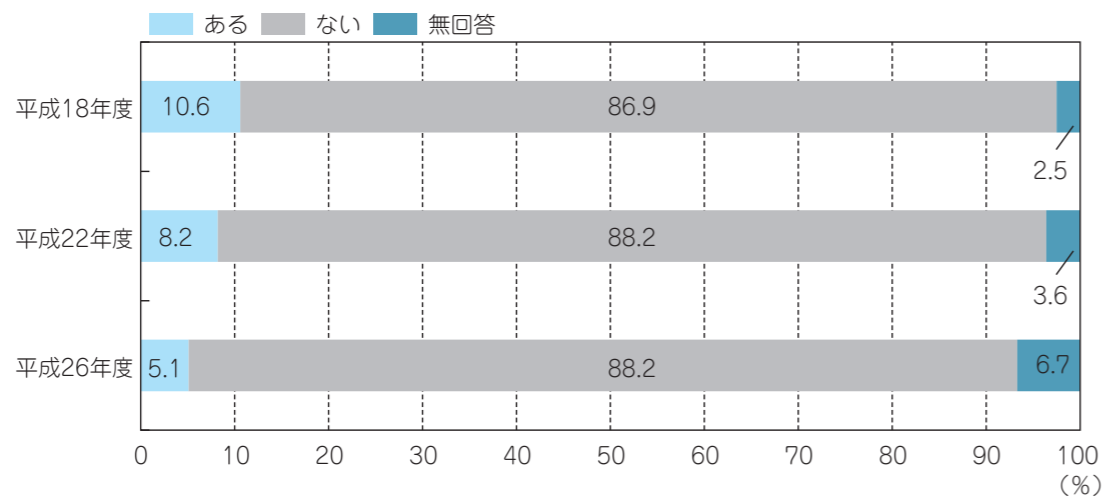
■課題■

スポーツとのかかわり方で、「みる」ことは気軽に取り組みやすいことから、トップレベルの競技スポーツを直に観戦することや、多くの市民が心をひとつにして共に盛り上がるパブリック・ビューイングを観戦方法に取り入れていくことが必要です。

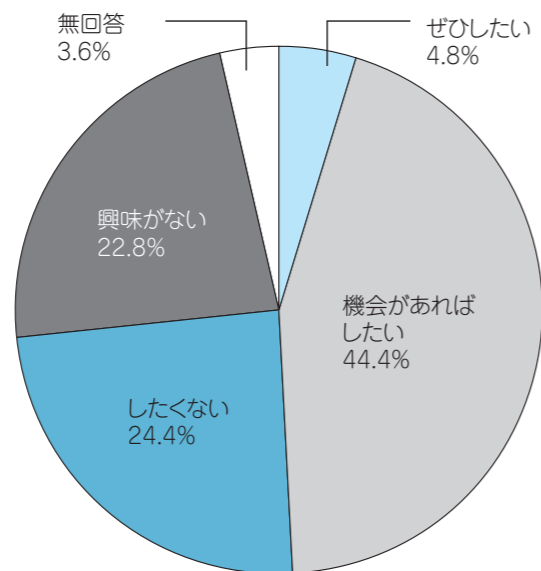
(3) 「ささえる」スポーツの現状と課題

平成26年度アンケート調査では、市民の5.1%がスポーツボランティアの経験があると回答しています。また、「やってみたい」と回答した人の割合も49.2%と、ボランティアとしてスポーツにかかわることへの興味・関心や意欲を持っていることがうかがえます。

図表2-14 スポーツボランティアの経験  
(平成18年度, 平成22年度, 平成26年度アンケート)



図表2-15 スポーツボランティア参加意欲  
(平成26年度アンケート)



■ 課題 ■

多様化するスポーツへのかわり方の中で、「ささえる」活動の意義や価値が高まっています。今後は、スポーツの分野でも、スポーツボランティアなどの存在が積極的に活躍できる環境づくりが必要です。

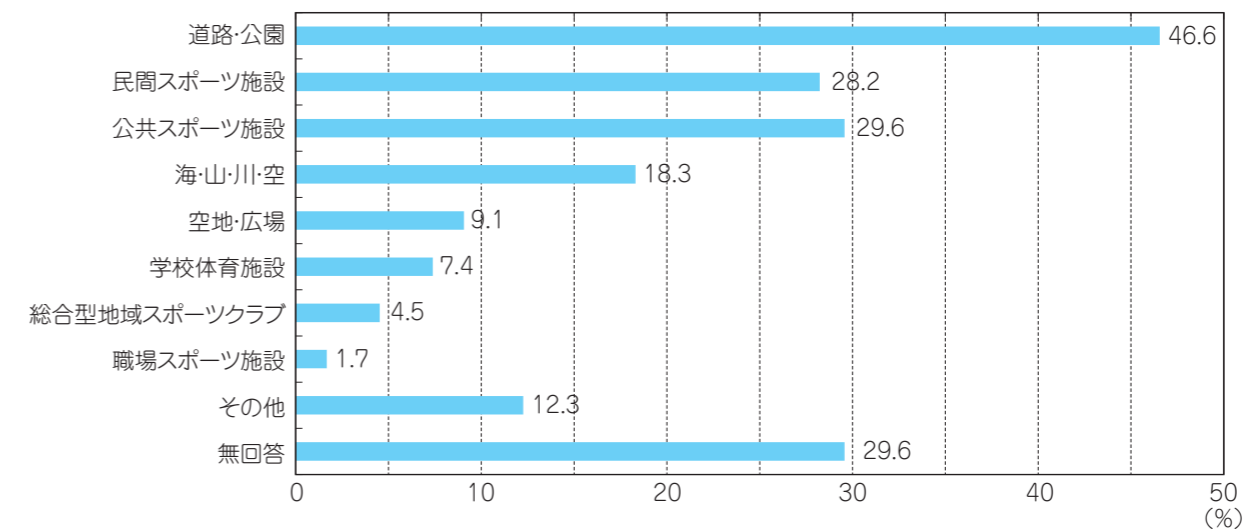
(4) スポーツ施設の現状と課題

① 公共スポーツ施設

公共スポーツ施設の週末や休日の利用は各種大会やイベントで飽和状態にありますが、一方で、平日の利用は少なく、利用の促進が必要な状況にあります。

アンケート調査では、市民がスポーツに親しんでいる場所の1位は「道路・公園」で、2位は「公共スポーツ施設」、3位は「民間スポーツ施設」となっています。

図表2-16 スポーツをしている場所 (平成26年度アンケート)



② 学校体育施設

小・中学校の校庭や体育館などの学校体育施設を、身近なスポーツ活動の場として開放しています。しかしながら、小学校、中学校、高等学校ともに利用率が高い状況にあるものの、利用は地域のクラブやサークルによる登録制であるため、個人での利用ができません。

図表2-17 学校体育施設開放の状況 (平成26年度)

	学校数(校)	開放校(校)	登録団体		開放日	利用者数 (延べ人数:人)
			団体数	会員数(人)		
小学校	42	42	278	9,130	土・日・祝日, 長期休業中	260,697
中学校	20	20	137	2,725	平日夜間 (18時~21時)	83,392
高等学校	1	1	3	57	平日夜間 (19時~21時)	773
計	63	63	418	11,912		344,862

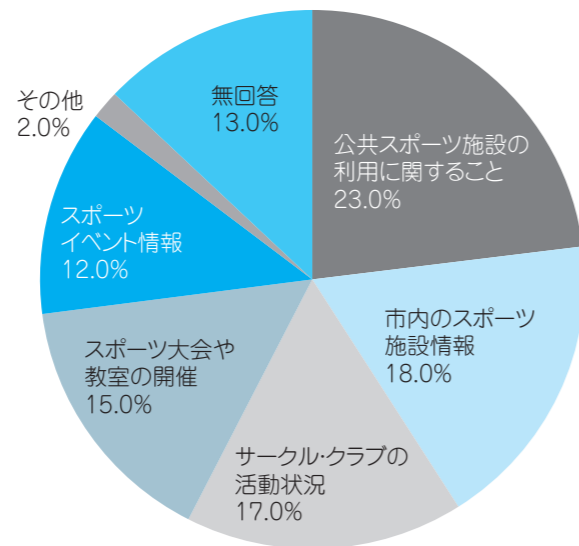
■ 課題 ■

一人でも多くの市民がスポーツに親しめる場所を確保するためには、公共スポーツ施設や学校体育施設の効果的・効率的な活用が必要です。また、公共スポーツ施設のほかにスポーツに親しめる空間を確保することが求められます。

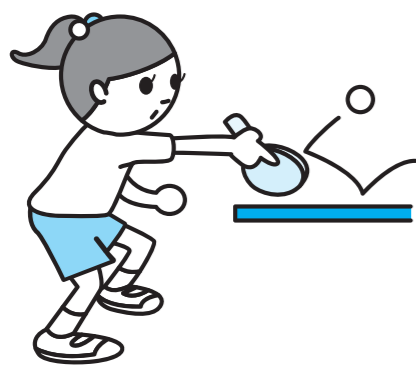
(5) スポーツ情報に関する現状と課題

アンケート調査では、市民が知りたい情報の1位は「公共スポーツ施設の利用に関すること」で、2位は「市内のスポーツ施設情報」、3位は「サークル・クラブの活動状況」でした。

図表2-18 入手したい情報（平成26年度アンケート）



施設利用の利便性向上を図るため、平成13年度から「スポーツ施設予約システム」を導入しています。このシステムにより、近隣センターやスポーツ施設利用者端末、インターネットから、施設の空き状況の確認や予約申請ができます。



■ 課題 ■

市民のスポーツへの参加意欲を促進するためには、公共スポーツ施設に関するだけでなく、幅広いスポーツ関連情報の提供や、インターネットの活用により容易に情報が入手できる環境が必要です。また、利用者端末についても、施設の利用に関するだけでなく、スポーツ大会やイベントなど、幅広いスポーツ情報が入手できる機能が求められます。

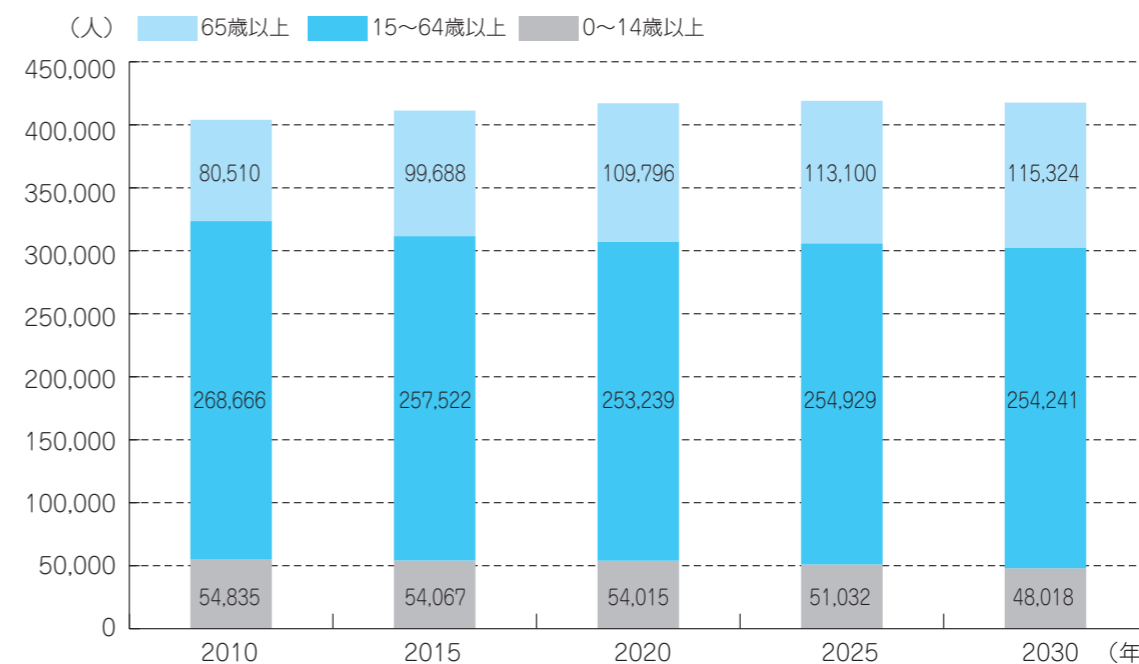
2 柏市の地域特性

本市の人口、地域ポテンシャル、プロ・実業団チーム、大学や研究機関の集積、指定管理者制度の導入などからなる地域特性を十分に活かした計画としています。

(1) 人口（少子・高齢化の進展）

本市の人口は411,399人（平成27年10月1日現在）となっています。昨年の同時期408,198人に比べ微増ではありますが、増加傾向は2025年まで増加すると予想されています。構成は、14歳以下は13.3%、15歳から64歳は63.3%、65歳以上は23.4%（平成27年10月1日現在）となっています。また、高齢化率は23.4%で今後も上昇していくことが想定されており、スポーツ推進においても、少子・高齢化を踏まえた施策の展開が求められています。

図表2-19 年齢3区分将来推計人口



（「柏市第五次総合計画 前期基本計画」より）

(2) 地域ポテンシャル

本市は、東京都心から約30kmに位置し、情報や産業、交通の基盤が充実していることから、県内外の地域との交流や相互の連携が行いやすい立地条件にあります。また、利根川や手賀沼など豊かな自然環境に恵まれているほか、テニスコートや競技場、野球場を備えた県のスポーツ施設があります。

(3) プロ・実業団チームとの連携

本市には、柏レイソルをはじめ多くのプロ・実業団チームが拠点を置いて活動しています。こうしたトップレベルチームの競技者や指導者などの人材を積極的に活用したスポーツ推進事業を進めています。

図表2-20 市内のプロ・実業団チーム

柏レイソル（サッカー：Jリーグ）  
 JX - ENEOS サンフラワーズ（女子バスケットボール：Wリーグ）  
 積水化学女子陸上競技部（陸上）  
 柏エンゼルクロス（女子バレーボール：Vチャレンジリーグ）  
 YBC 柏（硬式野球）  
 日立サンロッカーズ東京（男子バスケットボール：Bリーグ）  
 JR 東日本野球部（硬式野球）  
 柏 TOR' 82（フットサル：Fリーグ）  
 TTC（吉田記念テニス研修センター）  
 柏ゴールデンホークス（チアダンス）

**(4) 柏市医師会等・医療機関との連携**

近年の健康意識の向上により、健康的な体の維持や生活習慣病の改善などの健康面に対して、スポーツによる効果が期待されています。さらに、高齢化による疾病の一次予防や介護予防に関心が高まっており、専門的な知識を有する柏市医師会等・医療機関との連携を進めています。

**(5) 大学、研究機関との連携**

本市には、東京大学や千葉大学をはじめ、多様な研究領域を対象とする大学が多く立地しています。特に、柏の葉キャンパス駅周辺地区では、大学との連携によるまちづくりが進められており、これらの研究や人材、施設などを活用したスポーツ推進に努めています。

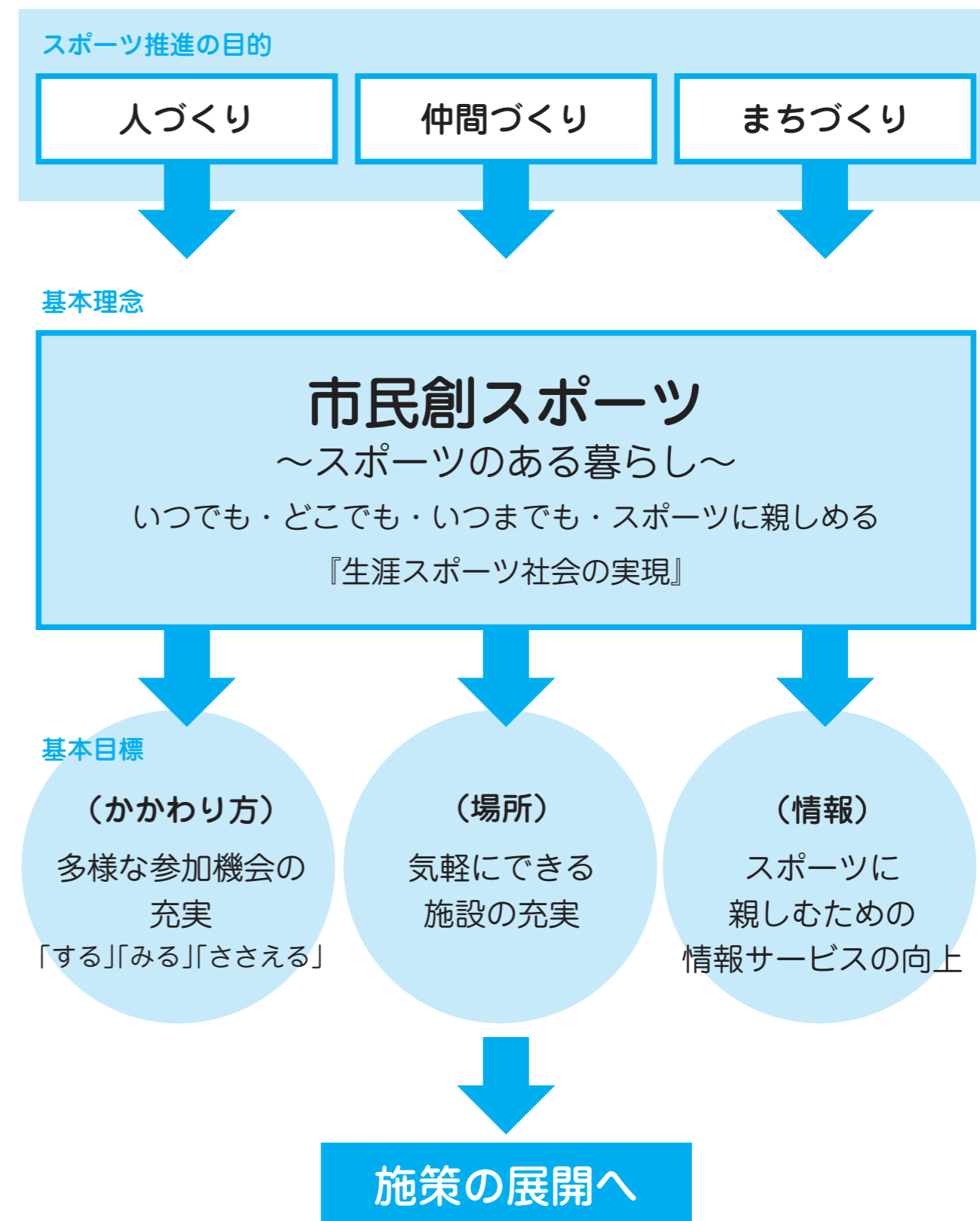
**(6) 指定管理者制度の充実**

本市は、スポーツ施設への指定管理者制度を平成18年4月から導入しました。これにより、施設の管理運営において住民サービスの向上を図るとともに、指定管理者による自主事業を展開し、住民ニーズに応えています。

**3 計画の基本理念と基本目標**

スポーツを取り巻く環境や本市のスポーツの現状と課題を踏まえ、計画の基本理念を設定します。また、それに基づいた基本目標を掲げ、本計画の施策を展開していきます。以下は、計画全体の基本的な考え方です。

図2-21 計画の基本的な考え方



## (1) スポーツ推進の目的

## ■スポーツの目的

これからのスポーツ推進は、競技力の向上や健康・体力づくりにとどまらず、生きがいや仲間づくり、地域コミュニティの形成、ひいてはまちづくりに大きく貢献することが期待されています。本計画では、「人づくり」「仲間づくり」「まちづくり」の3つの視点から本市のスポーツ推進の目的を整理します。

## 人づくり

科学技術の高度化にともない、運動不足による体力低下や生活習慣病の増加と低年齢化が問題となっている中、スポーツは、競技力の向上だけでなく心身の両面にわたる健康の保持増進や個人の生きがいづくりに貢献するものとして期待されるようになってきました。体力は人間のあらゆる活動の源であり、意欲や気力の充実に大きくかかわっていることから、スポーツによる元気な人づくりが求められます。

**[心身の健康づくり，生きがいづくり]**

## 仲間づくり

情報化の進展により、対面でのコミュニケーションが不足がちになり、他者とのかかわり方に様々な問題が生じています。そのような問題に対し、スポーツは、感動を共有したり、支えあったりすることで、家族、友人、仲間との絆を深めていくきっかけとなることが期待されます。

**[感動の共有，ささえあい，ふれあい]**

## まちづくり

都市化の進展にともない、人と人とのつながりが希薄化する中で「する」「みる」「ささええる」といった多様なかかわり方ができるスポーツは、地域コミュニティの活性化や再生につながるものとして期待されます。

**[地域コミュニティの活性化・再生]**

## (2) 計画の基本理念

本市におけるスポーツ推進の目的を踏まえ、全ての市民が様々なかたちでスポーツに親しむことができるように、本市のスポーツ文化を育む考え方として、「市民創スポーツ～スポーツのある暮らし～」を基本理念とします。

この基本理念には、みんなで力を合わせて、自分に合ったスポーツの楽しみ方や空間を見つけ出していく（創り出していく）、そうした思いが込められています。

## (3) 計画の基本目標

計画の基本理念に示した本市の目指す生涯スポーツ社会を実現するため、「かかわり方」「場所」「情報」といった3つの視点から基本目標を掲げます。

## ア かかわり方：多様な参加機会の充実

市民一人ひとりが、それぞれのライフステージ、ライフスタイルにあったスポーツを見つけたことができるときに、はじめてスポーツは生活の中に定着していきます。そのためには、スポーツを「する」だけでなく、「みる」「ささええる」などの多様な関わり方の機会を提供していくことが重要です。あらゆる市民が楽しく、気持ち良くスポーツに親しめるように、多様な参加機会の充実を進めていきます。

## 【数値目標】

生涯スポーツ社会を実現するため、10年後に達成されるべき目標を定めます。

『スポーツ実施率（週1回以上）65%以上』を目指します。  
成人の週1回以上の運動やスポーツを実施する人の割合。

参考：アンケートによるスポーツ実施率

平成18年度 33.6%

平成22年度 43.4%

平成26年度 40.1%

## イ 場所：気軽に利用できる施設の充実

生活の中にスポーツを定着させるためには、気軽に利用できるスポーツ施設の充実は欠かせません。そのため、既存施設の有効活用の促進、国や県の行政機関、大学や企業の協力による利用施設の拡充などの環境の整備を進めていきます。また、公共スポーツ施設の老朽化などの問題が出てきています。柏市公共施設等総合管理計画において、計画的な更新・改修を行い、現有施設の長寿命化を図ります。

## ウ 情報：スポーツに親しむための情報サービスの向上

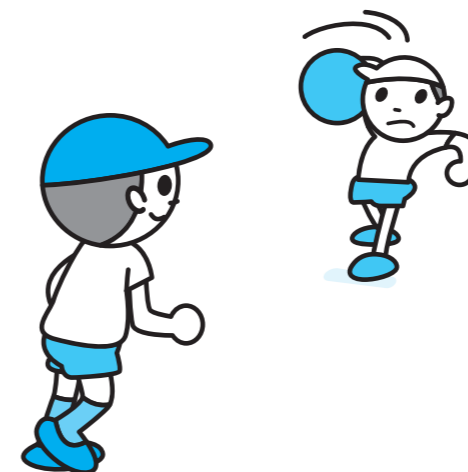
生涯スポーツの推進には、市民のニーズに応じた情報の提供は欠かせません。そのため、市民による情報の発信やスポーツ施設への情報コーナーの設置など、情報サービスの充実を進めていきます。また、スポーツの意義や必要性を理解し、自らスポーツに親しむ市民を育成するため、啓発事業にも積極的に取り組んでいきます。

### 第3章 計画の取り組み

施策体系は、前章の基本目標を推進していくために必要な取り組みを施策構成として整理したものです。本計画では、「多様な参加ができる『する』スポーツの充実」「魅力ある『みる』スポーツの充実」「感動を分かち合う『ささえる』スポーツの充実」「気軽に利用できる『場所』の充実」「スポーツを楽しむきっかけとなる『情報』の充実」という5つの基本施策に分けて個々の施策を体系化するとともに、これらの施策を推進していきます。

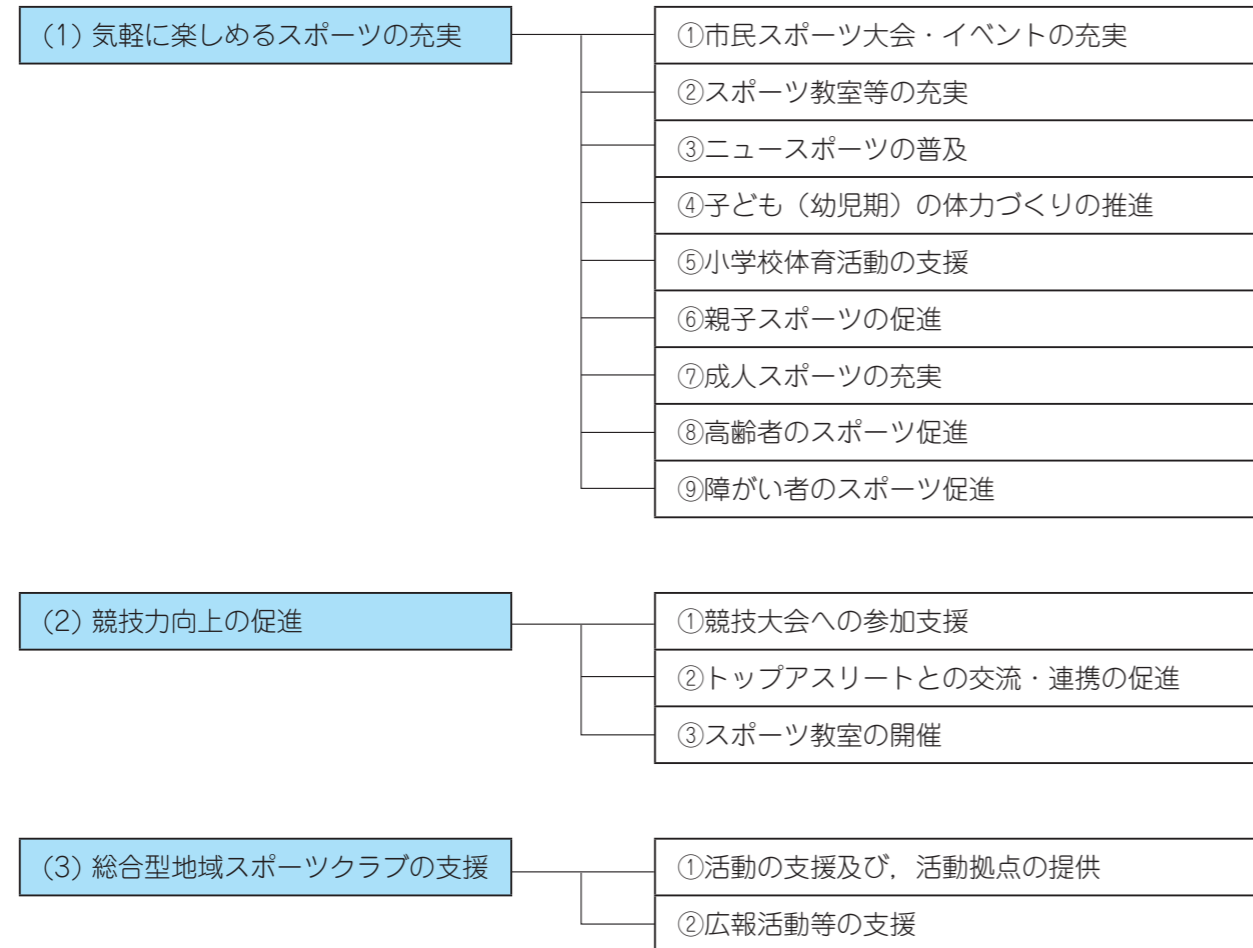
図表3-1 施策体系

基本施策1	多様な参加ができる「する」スポーツの充実
基本施策2	魅力ある「みる」スポーツの充実
基本施策3	感動を分かち合う「ささえる」スポーツの充実
基本施策4	気軽に利用できる「場所」の充実
基本施策5	スポーツを楽しむきっかけとなる「情報」の充実

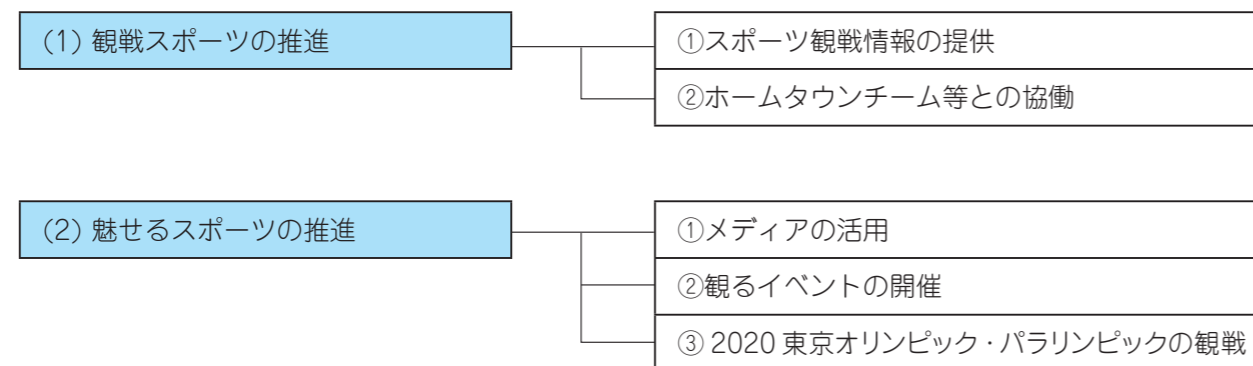


図表3-2 施策体系図

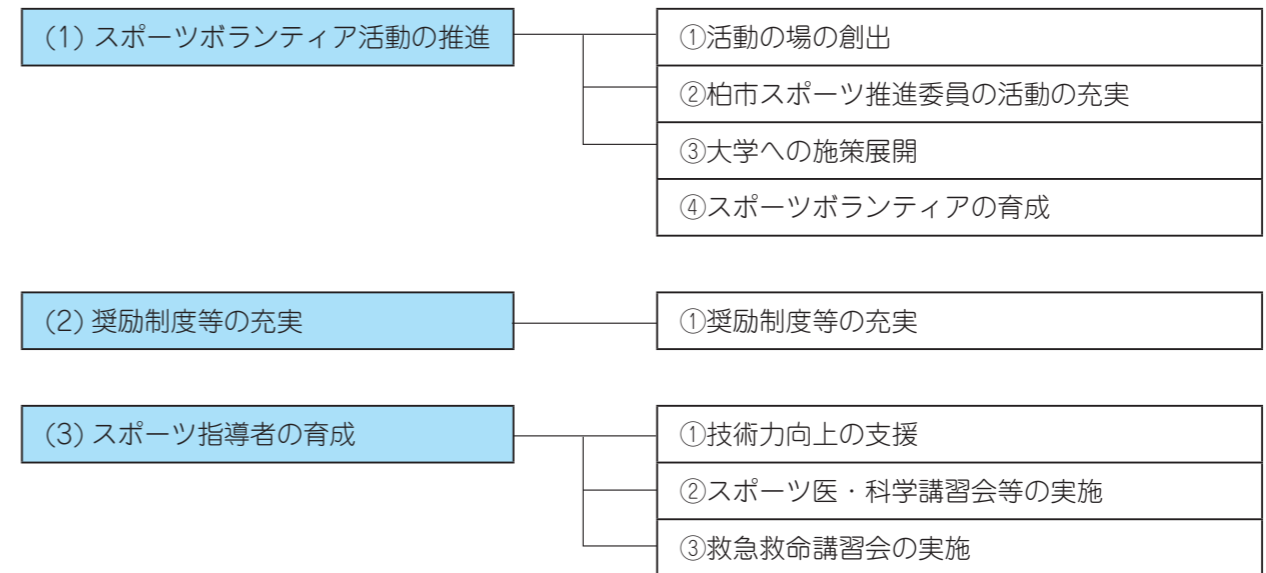
**基本施策1 多様な参加ができる「する」スポーツの充実**



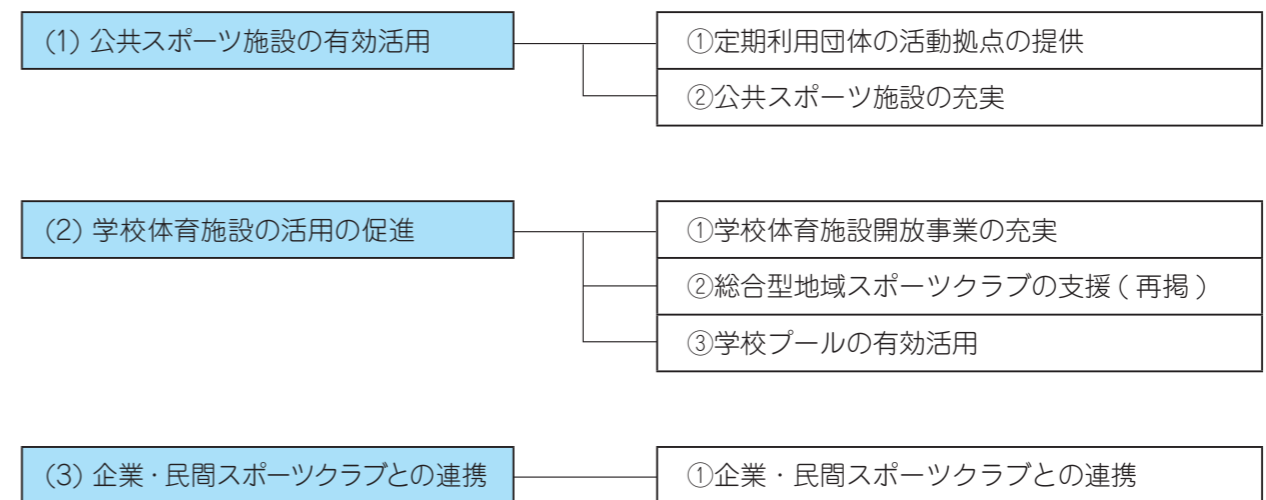
**基本施策2 魅力ある「みる」スポーツの充実**



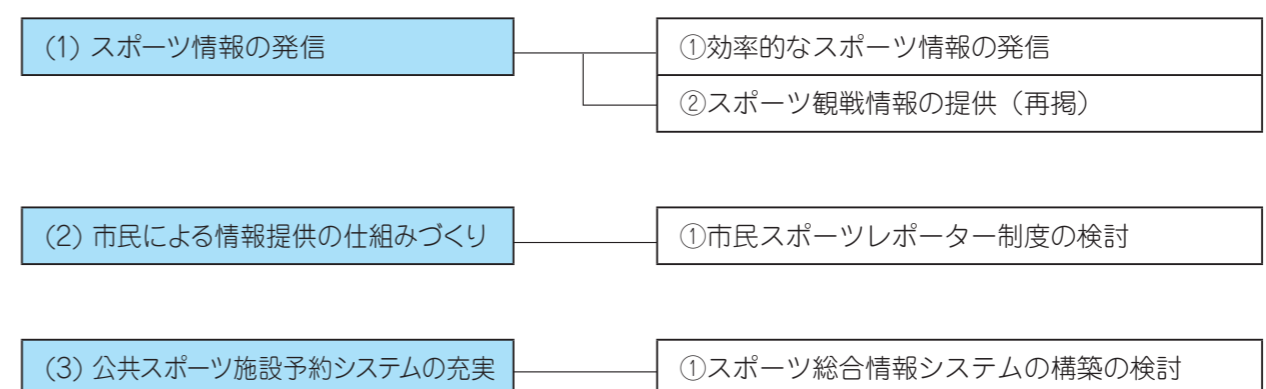
**基本施策3 感動を分かち合う「ささえる」スポーツの充実**



**基本施策4 気軽に利用できる「場所」の充実**



**基本施策5 スポーツを楽しむきっかけとなる「情報」の充実**





## 基本施策1

## 多様な参加ができる「する」スポーツの充実

子どもから高齢者まで、また障がいの有無にかかわらず、あらゆる人々が健康で豊かな生活を送るために、運動やスポーツに親しみ、その取り組みを習慣化していくことが大切です。

心身の健康の保持増進を図り、健康で活力に満ちた健康的な長寿社会を実現するため、ライフステージに応じたスポーツを推進していきます。

また、特に日頃スポーツに親しんでいない人のニーズや生活環境（年齢層・男女別など）に応じた多様な入り口を用意して、スポーツへの関心・興味を喚起し、さらに継続的にスポーツ活動を行うきっかけづくりを目的とした機会と情報の提供に努めます。

## (1) 気軽に楽しめるスポーツの充実

誰もがスポーツを身近に感じ、あらゆるライフステージを通じて、日常的にスポーツを楽しむことができるよう、スポーツを「する」きっかけとなるための取り組みを推進します。

## ～ ライフステージに応じたスポーツ活動の基本的な考え方～

## ■子どものスポーツ

幼児期から児童期にかけてのスポーツの体験は、心身の健全な発育・発達や人格形成に大きな影響を与えるとともに、成人後の豊かなスポーツライフを築くための基盤となります。

そのため、子どもの頃から様々なスポーツに触れ、体力、運動能力を身につけ、スポーツに親しめる基礎を築く取り組みを推進していきます。

## ■成人のスポーツ

社会人としての制約も多くなり、一般的には継続的なスポーツ活動の機会が減少する時期になります。このため、スポーツに親しむきっかけづくりになるような、親子や多世代参加型のスポーツイベント等を開催して参加機会の充実を図ります。また、生活習慣病予防などの健康・体力づくりの情報提供を推進していきます。

## ■高齢者のスポーツ

高齢者のスポーツ活動は、健康寿命の伸長を促すうえで大切な役割を果たします。また、運動やスポーツを通じて仲間との交流や他の世代との交流を深めることも大切です。

健康保持増進、生きがいづくり、仲間づくりの観点から、高齢者がいつまでもスポーツを楽しむことができる機会を提供していきます。

## ■障がい者のスポーツ

障がいの有無にかかわらず、スポーツにおけるノーマライゼーションを推進するため、様々な人々との相互理解を深める交流事業や多様なスポーツを楽しむ機会を提供していきます。

## 《具体的な施策》

## ①市民スポーツ大会・イベントの充実

年間を通じて様々なスポーツ大会の後援及び側面支援をするほか、マラソン大会をはじめとしたスポーツイベントの充実を図ります。

## 【事業展開】

- ・市民体育大会の支援
- ・手賀沼エコマラソン大会の充実
- ・柏市民新春マラソンの充実

## ②スポーツ教室等の充実

市民のスポーツへの参加を促進するため、体育協会や指定管理者と連携し、市民ニーズに応じたスポーツ教室等を開催します。

## 【事業展開】

- ・体育協会加盟の競技団体によるスポーツ教室の開催
- ・指定管理者の自主事業によるスポーツ教室の開催
- ・体力年齢診断の定期的な実施

## ③ニュースポーツの普及

柏市スポーツ推進委員による学校体育施設を活用したニュースポーツ体験教室等を開催し、誰もが気軽に楽しめるニュースポーツの普及を図ります。

## 【事業展開】

- ・スポーツ推進委員の各支部による定期的なスポーツイベント等の実施
- ・PTA や地域住民組織などから派遣要請されるスポーツ推進委員の派遣活動の推進

## ④子ども（幼児期）の体力づくりの推進

子どもの体力の向上を図るため、遊びを通じて基本的な運動を取り入れ、子どもが積極的にスポーツに親しむ機会をつくります。

## 【事業展開】

- ・関係機関、関係部署との連携によるスポーツイベントの開催
- ・柏市スポーツ推進委員によるニュースポーツ体験教室の開催

## ⑤小学校体育活動の支援

小学校と連携して、児童に運動やスポーツの楽しさや喜びを伝え、基礎的な知識と技能を身につけるプログラムを実施します。また、体育指導者を対象にした指導方法の研修を実施します。

## 【事業展開】

- ・小学校の放課後を活用した「運動苦手克服教室」の充実
- ・小学校の授業で実施する「運動教室」の充実

## ⑥親子スポーツの促進

子どもの体力づくりと保護者のスポーツへの参加を促進するため、親子・家族向けのスポーツイベントを開催します。

## 【事業展開】

- ・教育関係機関等と連携したスポーツイベントの開催
- ・柏市スポーツ推進委員によるニュースポーツ体験教室の開催（再掲）
- ・柏市民新春マラソンのファミリーの部の充実

## ⑦成人スポーツの充実

スポーツ実施率が低い若年層（20・30代）に対しては、スポーツを普段の生活に取り入れてもらうためのきっかけづくりや、継続を促す取り組みを実施します。

## 【事業展開】

- ・身近な場所で手軽に実施できるウォーキング等の軽運動の普及

## ⑧高齢者のスポーツ促進

高齢者がスポーツに参加できる取り組みを推進します。また、高齢者の生きがいづくりや介護予防事業などとの連携を視野に入れて取り組みます。

## 【事業展開】

- ・柏市スポーツ推進委員によるニュースポーツ体験教室の開催（再掲）
- ・スポーツ、レクリエーション交流会の開催

## ⑨障がい者のスポーツ促進

障がい者スポーツの普及・発展のため、関係機関や団体との連携を図り、障がいのある方がスポーツ活動に参加できる環境を充実していきます。

## 【事業展開】

- ・スポーツ交流会やスポーツ教室の開催
- ・障がい者スポーツの情報発信

## (2) 競技力向上の促進

公認大会に参加するスポーツ団体等に対する競技力の強化支援をはじめ、奨励金制度を充実することで、市内の競技スポーツの促進を図ります。また、競技スポーツの普及を図るため、スポーツ教室等を開催します。

## 《具体的な施策》

## ①競技大会への参加支援

競技スポーツの普及、強化を図るため、各大会に出場する選手、団体に対し、奨励金等を交付します。

## 【事業展開】

- ・県民大会の派遣費補助
- ・競技力向上奨励金制度の充実

## ②トップアスリートとの交流・連携の促進

2020年東京オリンピック・パラリンピックの開催の波及効果が市内のスポーツ推進につながるよう、トップアスリートやホームタウンチームによる講演会や実技指導を行います。

## 【事業展開】

- ・トップアスリートによる講演会及び、スポーツ教室の開催
- ・ホームタウンチームと交流会の開催（協働推進課）

## ③スポーツ教室の開催

体育協会の加盟団体等による競技者を対象とした各種目のスポーツ教室を開催し、競技者の技術向上を図ります。

## 【事業展開】

- ・体育協会加盟の競技団体によるスポーツ教室の開催（再掲）

## (3) 総合型地域スポーツクラブの支援

身近な生活圏で気軽にスポーツに親しめる環境を推進するため、クラブ活動の支援を行います。

## 《具体的な施策》

## ①活動の支援及び、活動拠点の提供

活動拠点として学校体育施設や公共スポーツ施設を提供します。

## 【事業展開】

- ・総合型地域スポーツクラブに関するフォーラムの実施
- ・市内総合型地域スポーツクラブ「高田倶楽部」の1日体験クラブの実施

## ②広報活動等の支援

総合型地域スポーツクラブの認知度を高めるための広報活動を継続して行います。

## 【事業展開】

- ・総合型地域スポーツクラブの会員増加及び、イベントの情報発信

## 基本施策2

## 魅力ある「みる」スポーツの充実

スポーツは「する」だけでなく、観て楽しむこともできます。スポーツとのかかわり方で「みる」ことは誰でも気軽に取り組めることから、スポーツ活動の裾野を広げることにつながっていきます。特に、高いレベルのパフォーマンスは、観る人に感動を与え、スポーツの魅力を感じることにより、スポーツへの関心や意欲を高めます。

## (1) 観戦スポーツの推進

「みる」スポーツへの取り組みを促進するためには、市民の関心が高いスポーツイベントが必要です。柏レイソルなどホームタウンチームと連携して、「みる」スポーツの魅力を高めるとともに、高いレベルのスポーツイベントの開催に努めます。

また、2020年東京オリンピック・パラリンピックの開催は、世界で活躍するトップアスリートに触れるまたとない好機です。トップアスリートの活躍を観る立場でスポーツに参加する機会の提供を検討します。

## 《具体的な施策》

## ① スポーツ観戦情報の提供

大規模イベントやトップアスリートが参加する大会だけでなく、市内で開催されるスポーツ大会や市内のチーム・選手などが出場する大会の情報提供を行います。

## 【事業展開】

- ・市のホームページやSNSによるタイムリーな情報提供
- ・柏レイソルなどのトップチームの活躍を市のホームページやSNS等で情報発信（協働推進課）

## ② ホームタウンチーム等との協働

プロや実業団チームの試合を間近に観戦し、スポーツ観戦の興奮や感動を与える機会を提供します。

## 【事業展開】

- ・ホームタウンチームの競技観戦の機会の提供（協働推進課）
- ・プロチームの試合観戦の機会の提供（協働推進課）

## (2) 魅せるスポーツの推進

トップスポーツに触れる機会を提供し、市民に夢や感動を与え、臨場感や高揚感を味わえる機会の提供に努めます。また、あらゆる機会を活用した魅力あるスポーツイベントの開催を推進します。

## 《具体的な施策》

## ① メディアの活用

スポーツの魅力を引き出すためには、メディアによる盛り上げは欠かせません。

地域のメディアとの連携を図り、ケーブルテレビ、新聞、地域誌、市ホームページなど多様な媒体を通じたPRを検討します。

## 【事業展開】

- ・地域のメディアと連携した多様なスポーツの情報提供の検討
- ・市ホームページにて、アマチュアの市民アスリートの活躍を紹介。

## ② 観るイベントの開催

市民のスポーツへの関心を高めるため、多くの市民が関心を持つ大会などの観戦イベントを行います。

## 【事業展開】

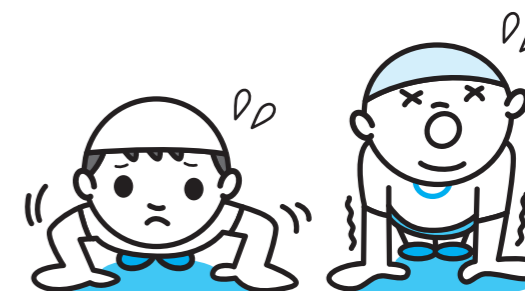
- ・パブリック・ビューイング等の開催

## ③ 2020東京オリンピック・パラリンピックの観戦

世界で活躍するトップアスリートの活躍を間近に触れ、スポーツの感動や会場の臨場感を体験できる観戦の機会の提供を検討します。

## 【事業展開】

- ・観戦ツアー及び、チケット提供の検討



## 基本施策3

## 感動を分かち合う「ささえる」スポーツの充実

市民が生涯にわたってスポーツに関わっていける環境づくりを進めていくうえでは、スポーツを支える多くのボランティアの存在が必要です。このため、スポーツボランティア活動の意義・価値を高め、進んで参加・貢献できる環境づくりを進めていくとともに、ボランティアの人材発掘・育成に努めていきます。

また、スポーツをする人とスポーツを支える人が互いに尊重し合う、スポーツを通じた地域づくりを推進するため、スポーツボランティア活動に関する先進的取り組み・事例の調査・研究を進めていきます。

## (1) スポーツボランティア活動の推進

手賀沼エコマラソンをはじめ、市内で行われるスポーツ大会に参加しているスポーツボランティアが継続的に活動できる環境を整え、市民のスポーツ活動をささえる体制づくりを進めていきます。

## 《具体的な施策》

## ①活動の場の創出

手賀沼エコマラソンなどのスポーツイベントに参加できる機会の拡大に努めます。また、気軽に参加できる活動であることをPRするため、広報宣伝活動を推進します。

## 【事業展開】

- ・手賀沼エコマラソンなど、ボランティアとして参加する機会の創出
- ・スポーツボランティアの意義や価値をPRする広報活動の推進

## ②柏市スポーツ推進委員の活動の充実

市民のニーズに応じた活動の場が広がるよう、研修会や他団体との指導交流などによるスキルアップを図ります。

## 【事業展開】

- ・柏市スポーツ推進委員のスキルアップ研修会等の開催

## ③大学への施策展開

地域のスポーツボランティアの充実に向けて、学生がスポーツボランティアに取り組む仕組みを検討し、スポーツを通じた大学の地域貢献活動を促進します。

## 【事業展開】

- ・学生スポーツボランティア制度の検討

## ④スポーツボランティアの育成

地域スポーツを支えているボランティアを育成するために、研修機会の充実やスポーツボランティア登録制度の創設を検討します。

## 【事業展開】

- ・スポーツボランティアの各種講習会の開催
- ・スポーツボランティア登録制度の検討

## (2) 奨励制度等の充実

スポーツ分野で活躍する選手の意欲や意識の高揚を図るため、上位大会に出場する選手、団体への支援を実施していきます。また、優秀な成績を収めた選手、団体の栄誉をたたえます。

## 《具体的な施策》

## ①奨励制度等の充実

上位大会にて優秀な成績を収めた選手、団体に対する顕彰を行います。また、スポーツ団体の活動に対する補助制度の充実を図ります。

## 【事業展開】

- ・スポーツ顕彰制度
- ・国際大会・全国大会出場団体等への奨励制度の充実

## (3) スポーツ指導者の育成

競技スポーツや地域のスポーツ活動を支える指導者の育成を図るため、専門的知識・技能のレベルアップに向けた研修等を実施します。

また、安心な環境のもとでスポーツ活動を行えるよう、安全に関する知識や技術、最新のスポーツ医・科学に基づく情報提供や研修会等を行います。

## 《具体的な施策》

## ①技術力向上の支援

競技スポーツや地域のスポーツ活動を支える指導者の育成を図るため、専門的知識・技能のレベルアップに向けた研修等を実施します。

## 【事業展開】

- ・指導者スキルアップ講習会の開催

## ②スポーツ医・科学講習会等の実施

スポーツ団体や実技指導にあたるスポーツ指導者を対象にして、スポーツによって生じる事故、外傷、障害等に関わるスポーツ医・科学的な知見を学習するための研修を実施します。

## 【事業展開】

- ・スポーツ医・科学講習会の開催

## ③救急救命講習会の実施

スポーツを行う際には、生死にかかわる急な心肺停止等についても十分対処できるように、スポーツ団体等にAED操作方法の講習会を実施します。また、スポーツ団体等が主催する大会等におけるAED設置や携行を奨励します。

## 【事業展開】

- ・救急救命講習会の開催

## 基本施策 4

## 気軽に利用できる「場所」の充実

スポーツの習慣化を図るためには、気軽にスポーツに親しむことができる場所の確保が欠かせません。そのため、スポーツ活動の拠点である市のスポーツ施設は、指定管理者との協働により、効果的・効率的な運営を進めていくとともに、身近な生活圏にある学校体育施設の有効活用を図ります。

市のスポーツ施設の環境整備（ハード面）については、現在、築30年以上を経過するスポーツ施設が多く老朽化が進んでいます。今後、スポーツ施設をはじめとする公共施設の長寿命化など管理の基本方針となる「柏市公共施設等総合管理計画」（平成28年度策定予定）に基づき、中・長期的な視点から計画的に改修整備を進めていきます。

## （1）公共スポーツ施設の有効活用

多様化するスポーツニーズに応えるため、指定管理者との連携による公共スポーツ施設の利便性の向上を図ります。

## 《具体的な施策》

## ①定期利用団体の活動拠点の提供

公共スポーツ施設の有効活用と地域スポーツ団体の育成を図るため、登録制による定期的な団体利用を推進します。

## 【事業展開】

・「定期利用サークル」の活動拠点の優先的な提供

## ②公共スポーツ施設の充実

市全体の施設管理計画を踏まえ、既存施設の計画的な改修を進めます。また、施設利用者の利便性を考慮した環境整備を図ります。

## 【事業展開】

・柏市公共施設等総合管理計画に基づく計画的な施設改修  
・指定管理事業者との協働による施設の利便性の向上

## （2）学校体育施設の活用の促進

地域のスポーツ団体の活動を推進するため、市内の小・中・高等学校の体育施設開放事業の充実を図ります。

## 《具体的な施策》

## ①学校体育施設開放事業の充実

地域住民の身近なスポーツ活動の場として利用できるよう、学校の実態に応じた開放を推進します。

## 【事業展開】

・小・中・高等学校の体育施設を地域のスポーツ団体へ開放

## ②総合型地域スポーツクラブの支援（再掲）

身近な生活圏で気軽にスポーツに親しめる環境をつくるため、クラブが活動するための支援を行います。

## 【事業展開】

・総合型地域スポーツクラブの活動拠点の提供

## ③学校プールの有効活用

夏季の学校休業期間中、小学校のプールを開放し、地域の児童の運動の場を提供します。

## 【事業展開】

・小学校プール開放事業の充実

## （3）企業・民間スポーツクラブとの連携

市民のスポーツ活動を広げるため、企業や民間が有する施設や人的資源、情報などを活用し、スポーツを実施する機会や場所を提供していきます。

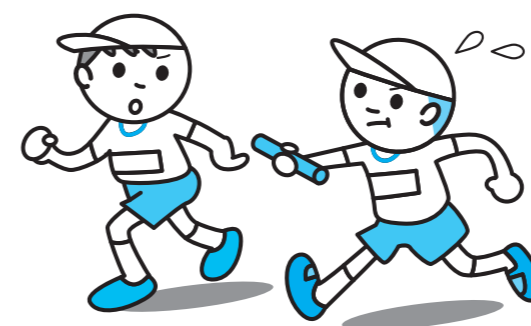
## 《具体的な施策》

## ①企業・民間スポーツクラブとの連携

企業・民間スポーツクラブと相互に連携を図りながら市民のスポーツ活動を活性化させるため、民間施設の利用提携などを進めていきます。

## 【事業展開】

・民間スポーツクラブの温水プールの利用機会の提供  
・企業・民間スポーツクラブとの協働事業の実施



## 基本施策5

## スポーツを楽しむきっかけとなる「情報」の充実

市民がスポーツ活動に参加する機会を拡大するため、市民にとってわかりやすく、簡単に入手できる情報が必要です。豊富な情報はスポーツへの関心を高めるとともに、スポーツに親しむきっかけづくりとなります。スポーツに関する適切な情報をできるだけ容易に入手したいという市民ニーズに対応していくため、広報や公共施設への配布など従来の手法に加え、Twitter（ツイッター）などのSNS（ソーシャルネットワーキングサービス）を活用するとともに、銀行やスーパーなどの掲示板や企業などにも働きかけ、多様な情報発信に努めます。また、市のホームページで分散しているスポーツ関連情報の一元化を検討し、スポーツイベントの開催やサークル活動、施設の利用情報など、幅広くスポーツ情報を提供できる仕組みづくりを検討し、市民がスポーツに興味・関心を持ち、積極的なスポーツ活動に結びつくよう努めます。

## (1) スポーツ情報の発信

これまでの市ホームページによる情報提供を充実するとともに、行政や地域及び、各スポーツ団体が有するスポーツ関連情報を集約し、市民の必要とするスポーツ関連情報の提供方法の整備を検討します。

## 《具体的な施策》

## ①効率的なスポーツ情報の発信

市民のニーズに即した幅広いスポーツに関する情報提供の体制整備を進めます。

## 【事業展開】

- ・市のホームページの充実及び、スポーツ関連情報の一元化の検討
- ・公共機関や店舗、医療機関などと連携した情報提供
- ・スポーツ情報メール配信サービスの検討

## ②スポーツ観戦情報の提供（再掲）

大規模イベントやトップアスリートが参加する大会だけでなく、市内で開催されるスポーツ大会や市内のチーム・選手などが出場する大会の情報提供を行います。

## 【事業展開】

- ・市のホームページやSNSによるタイムリーな情報提供
- ・柏レイソルなどのトップチームの活躍を市のホームページやSNS等で情報発信（協働推進課）

## (2) 市民による情報提供の仕組みづくり

スポーツへのかかわり方として、情報を受け取るだけでなく、市民がレポーターや投稿など、発信する側としても参加することができる情報提供の仕組みづくりを検討します。

## 《具体的な施策》

## ①市民スポーツレポーター制度の検討

地域や学校におけるスポーツの取り組みを取材し、その情報を市民に広く提供していくため、「仮称：スポーツレポーター制度」を検討し、更に充実した情報発信に努めます。

## 【事業展開】

- ・スポーツレポーター制度の検討

## (3) 公共スポーツ施設予約システムの充実

スポーツに関する様々な情報を容易に入手できる環境を整えるため、現在の公共施設予約システムを改善するなどして、施設の空き状況の確認や利用予約に加えて、スポーツサークル活動やスポーツ関連イベント情報などの情報の検索が行えるシステムの構築を検討します。

## 《具体的な施策》

## ①スポーツ総合情報システムの構築の検討

スポーツへの関心や参加意欲を促進するため、現在、稼働している公共施設予約システムの改良を図り、スポーツに関する様々な情報を総合的に提供できるシステムの構築を検討します。

## 【事業展開】

- ・スポーツ総合情報システムの構築の検討



## 第4章 重点的な取り組み

### 1 子どもの運動・スポーツの充実

#### (1) 基本目標

子どもの体力向上を図るため、子どもが体を動かす楽しさを実感し、自発的に運動に親しむことができるよう、家庭や地域に周知を図ります。

また、生涯にわたって運動に親しむ資質や能力の基礎を育てることができ、体力・運動能力の向上を図る上で重要な機会である学校体育における支援体制の充実を図ります。

#### (2) 取り組み

##### ① 幼児期の運動を習慣化するための取り組み

幼稚園、保育園関係機関と連携し、「遊び」を通じて子どもの体力の向上を図るためのプログラムの提供や運動遊びの実践などを行います。また、指導者への研修や家庭における周知に努めます。

##### ② 地域でのスポーツ機会の拡大

柏市スポーツ推進委員によるニュースポーツの普及を通じた地域でのスポーツ活動の一層の充実や、公共スポーツ施設の指定管理者及びスポーツ関係団体等との協力・連携によるスポーツ教室や体験型イベントを開催します。

##### ③ 親子スポーツの促進

子どものスポーツへの取り組みに大きく影響する保護者向けの啓発や親子が一緒に取り組めるスポーツプログラムの提供やイベントを開催します。

##### ④ 小学校体育活動の支援

小学校と連携して、児童にスポーツの楽しさや喜びを伝え、基礎的な知識と技能を身につける運動教室を実施します。また、スポーツ関係団体等と連携を図り、体育を指導する教員への研修を行います。

### 2 スポーツによる健康づくり

#### (1) 基本目標

市民一人ひとりの関心や目的に応じて、日常生活の一部にスポーツを取り入れ、心身ともに健康で豊かな生活を営むことができるようトレーニング方法等の情報の提供や、自身のライフスタイルに合ったスポーツに親しめる環境づくりを支援します。

#### (2) 取り組み

##### ① 成人・中年層の健康づくり

市の各部署が実施する健康増進支援のための施策や事業との連携を図り、様々な世代がスポーツに接することのできる機会を提供します。特に、仕事や家事、育児など時間的制約からスポー

ツに参加できない成人・中年層や、スポーツに無関心層への意識・意欲づけを行います。

### ②高齢者の健康づくり

フレイル（虚弱）など、体力低下等を理由に外出の機会や運動が減少している高齢者に対し、スポーツの奨励や体を動かす機会を提供します。また、疾病の一次予防や介護、認知症予防など、関係部署との連携により年齢に合った健康づくりに取り組みます。

### ③健康・スポーツに関する情報提供

市広報やホームページをはじめ、商店会や金融機関、医療機関等と連携・協力し、健康づくりに必要な身体活動に関する情報を広く提供するとともに、地域で活動する各種ボランティア団体や自治会・町会などとの連携・協力により、身近な地域イベント等での情報提供に努めます。

## 3 スポーツ情報の充実

### (1) 基本目標

スポーツをやってみたい、スポーツを楽しむためのサークル（クラブ）を探している、試合や大会の情報が欲しい、地域で予定するスポーツイベントの日程を知りたいなど、市民のスポーツニーズに応じた情報をわかりやすく提供・検索できる体制を整備し、市民のスポーツ活動を支援します。

### (2) 取り組み

#### ①総合的なスポーツ情報の提供

市ホームページを活用したスポーツイベントやサークル活動の情報をはじめ、各種スポーツ指導者、健康・体力づくり、医学的、科学的なスポーツに関する情報など、スポーツ活動に関する情報について、市民のニーズに即した情報提供の体制を整備します。

#### ②公共スポーツ施設予約システムの充実

既存の施設利用に関する機能に加え、市のスポーツ関連の総合的な情報（スポーツサークル・スポーツイベント等）を提供し、その情報の検索が行えるよう既存システムの充実を図ります。

#### ③市民による情報提供制度の創設

市民自らが地域におけるスポーツ活動の取り組みを取材、記録し、学校の部活動や学生スポーツ、アマチュアスポーツに関わる情報を広く市民に提供できる制度を検討します。





## 第2期 柏市スポーツ推進計画

平成28年4月

発行 柏市教育委員会 生涯学習部 スポーツ課

〒277-8503 千葉県柏市大島田48-1

電話 04-7191-7399 (直通)

FAX 04-7190-0892

URL <http://www.city.kashiwa.lg.jp/>